



**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

Saab 9-5 B205, B235, B308

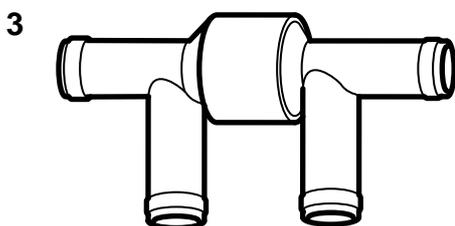
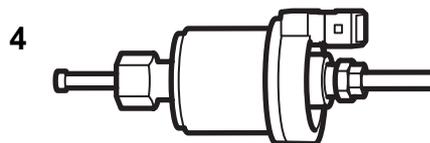
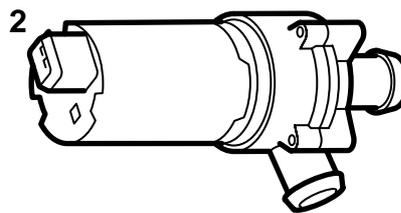
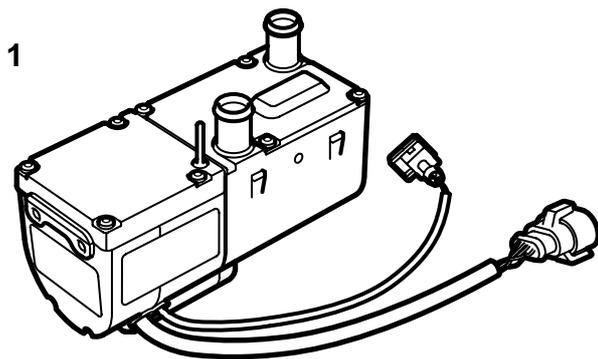
エンジンヒーター / 車室ヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 106 639 400 130 217	9:87-7	Nov 05	47 29 653	47 29 653 Sep 04

重要事項

ガソリン駆動式のエンジンヒーター / 車室ヒーターの取り付けに関する国の法規や規則を必ず確認し、これを順守すること。

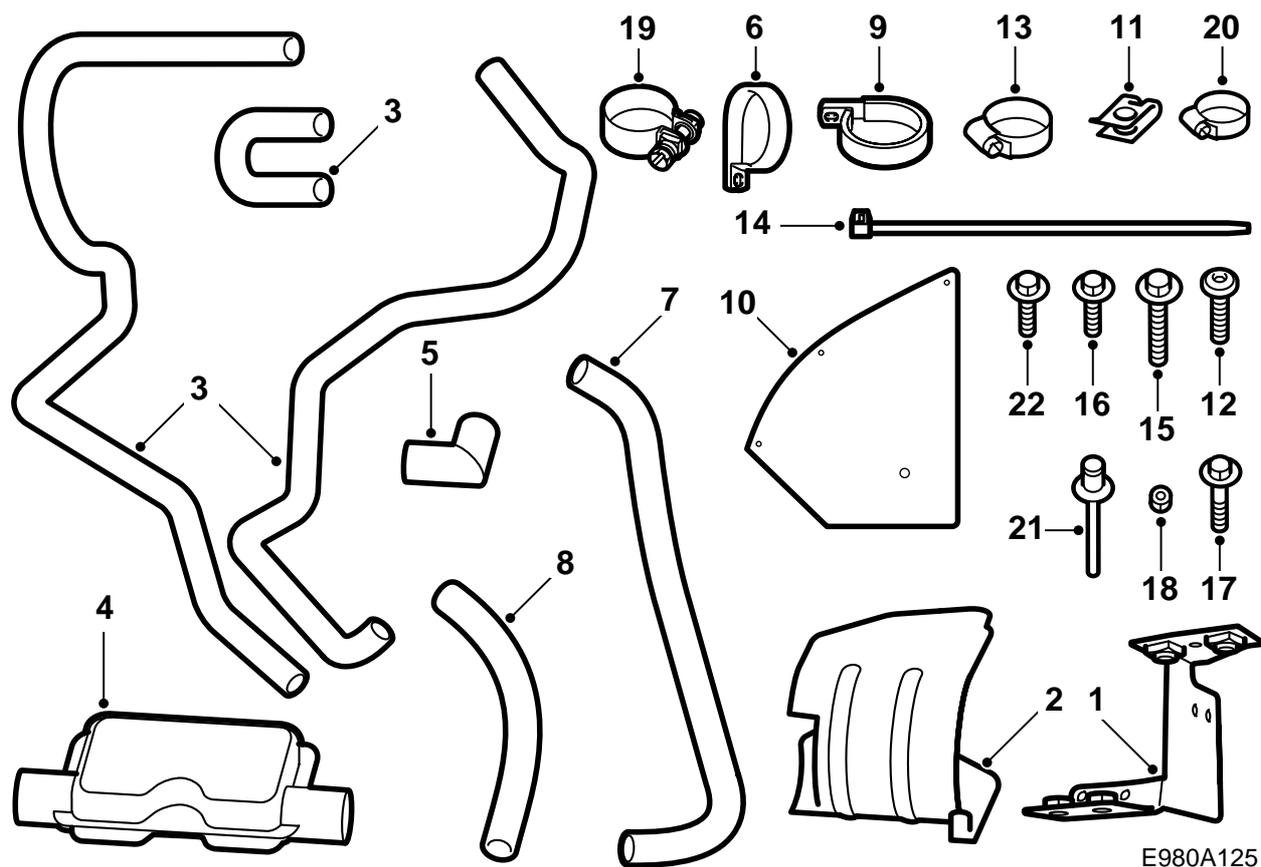
M04以降の車では、エンジンヒーター / 車室ヒーターの取り付けは 2001/56/EC (ヒーターシステム) の要件を満足する。



E980A222

ヒーターキット 400 106 621 には、以下の部品が入っている：

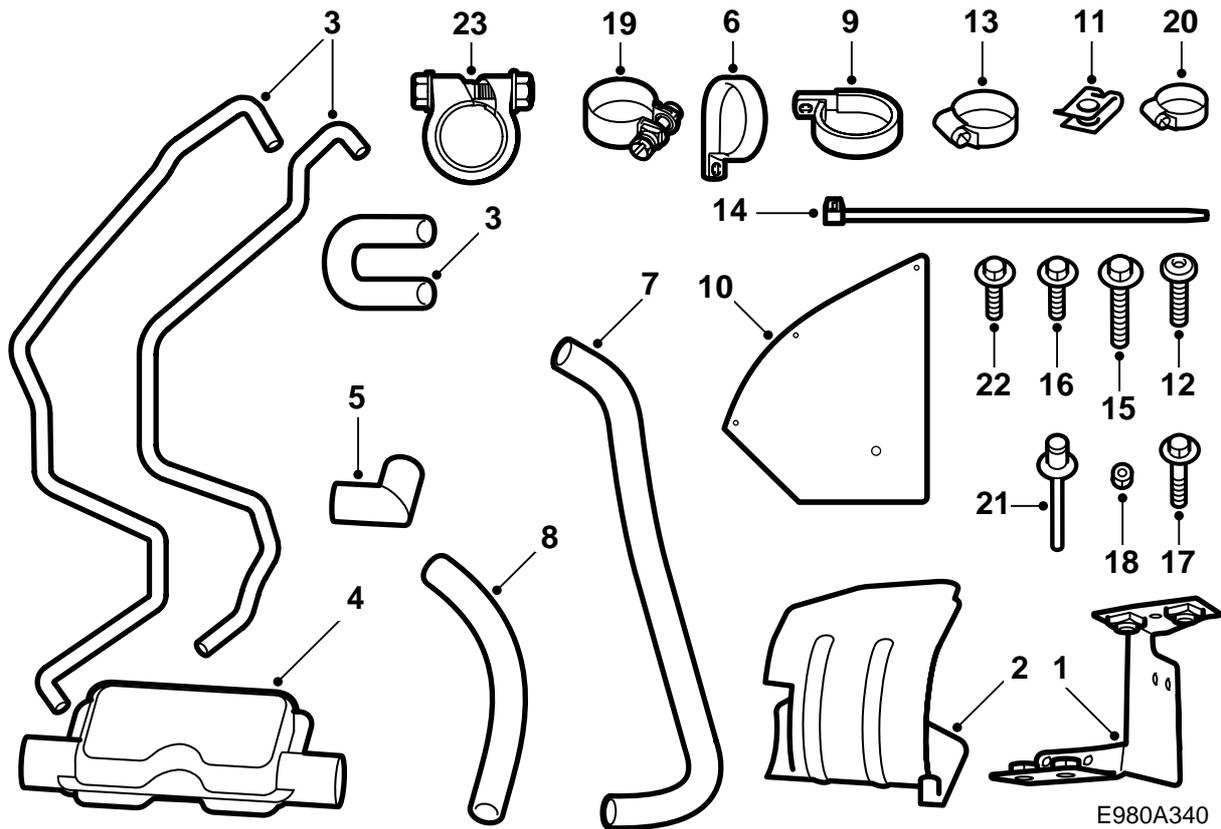
- 1 ガソリンヒーター
- 2 循環ポンプ
- 3 ノンリターンバルブ
- 4 フューエルポンプ
- 5 ラベル



E980A125

取り付けキット 400 106 639 には、以下の部品が入っている：

- 1 ブラケット
- 2 ホルダー
- 3 冷却液ホース (x3)
- 4 マフラー
- 5 エキゾーストパイプ 90°
- 6 クリップ (エキゾーストホース用) (x2)
- 7 エキゾーストホース
- 8 インテークホース
- 9 冷却液ポンプホルダー
- 10 スプラッシュガード
- 11 クリップ (x4)
- 12 ネジ (x3)
- 13 ホースクリップ (x8)
- 14 ケーブルタイ (x2)
- 15 ボルト M6
- 16 ネジ (x9)
- 17 ボルト M8 (x4)
- 18 ナット M6
- 19 クリップ (x3) (エキゾーストパイプ用)
- 20 クリップ (吸気用)
- 21 ブラインドリベット (x2)
- 22 ボルト M6 (x2)

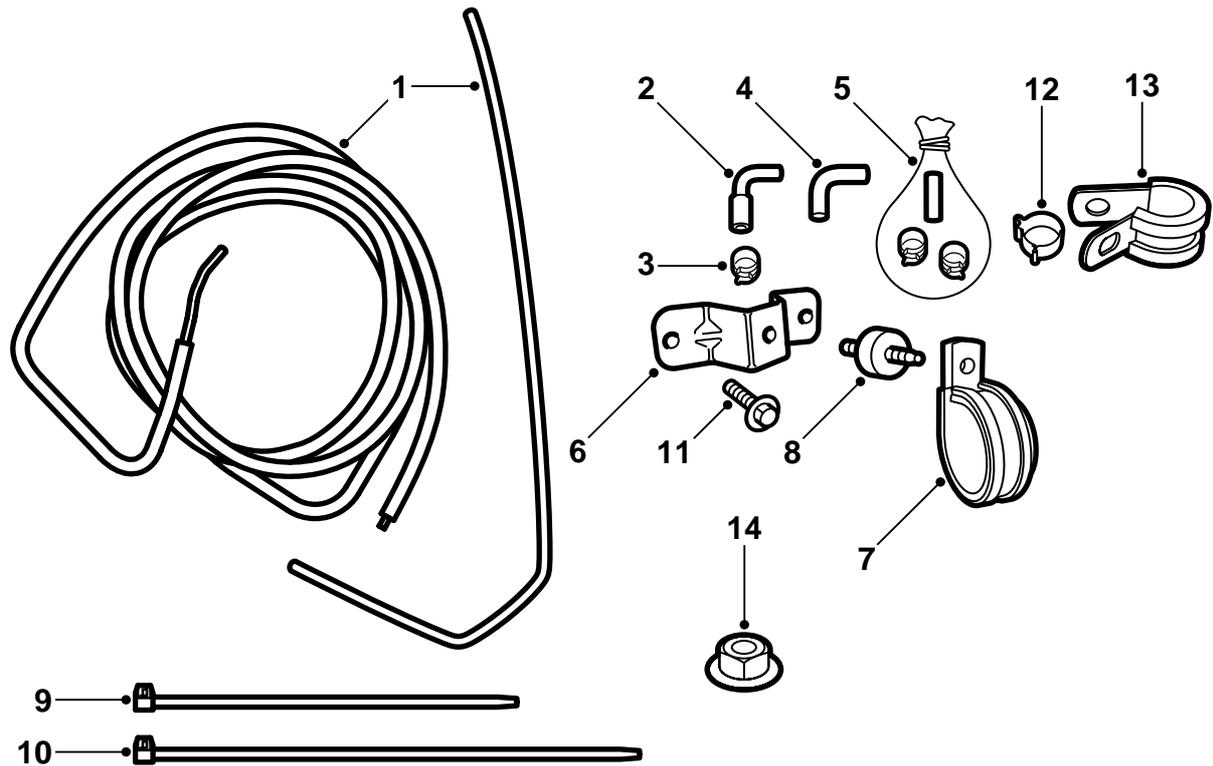


22 ボルト M6 (x2)

23 クリップ (x2) (エキゾーストパイプ用)

取り付けキット 400 130 217 には、以下の部品が入っている：

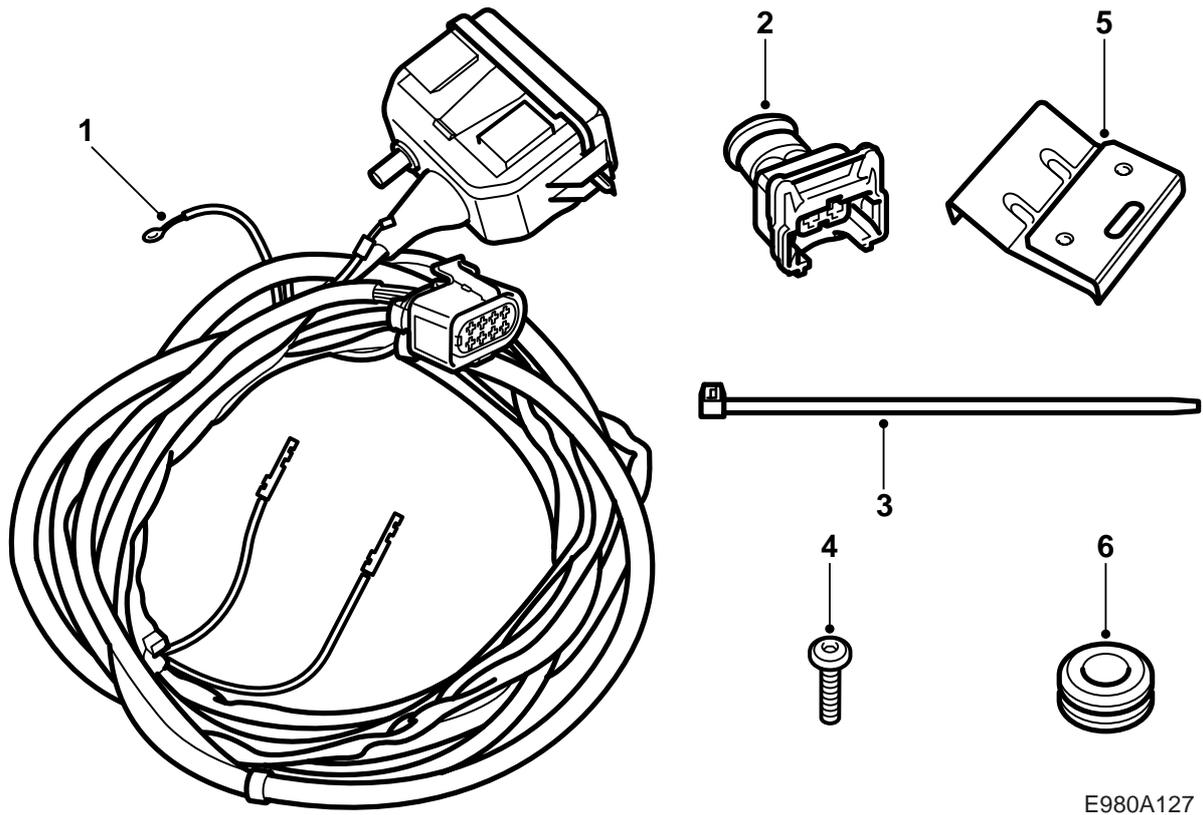
- 1 ブラケット
- 2 ホルダー
- 3 冷却液ホース (x3)
- 4 マフラー
- 5 エキゾーストパイプ 90°
- 6 クリップ (エキゾーストホース用) (x2)
- 7 エキゾーストホース
- 8 インテークホース
- 9 冷却液ポンプホルダー
- 10 スプラッシュガード
- 11 クリップ (x4)
- 12 ネジ (x3)
- 13 ホースクリップ (x8)
- 14 ケーブルタイ (x2)
- 15 ボルト M6
- 16 ネジ (x9)
- 17 ボルト M8 (x4)
- 18 ナット M6
- 19 クリップ (エキゾーストパイプ用)
- 20 クリップ (吸気用)
- 21 ブラインドリベット (x2)



E980A341

燃料接続キット 400 126 363 には以下の部品が入っている：

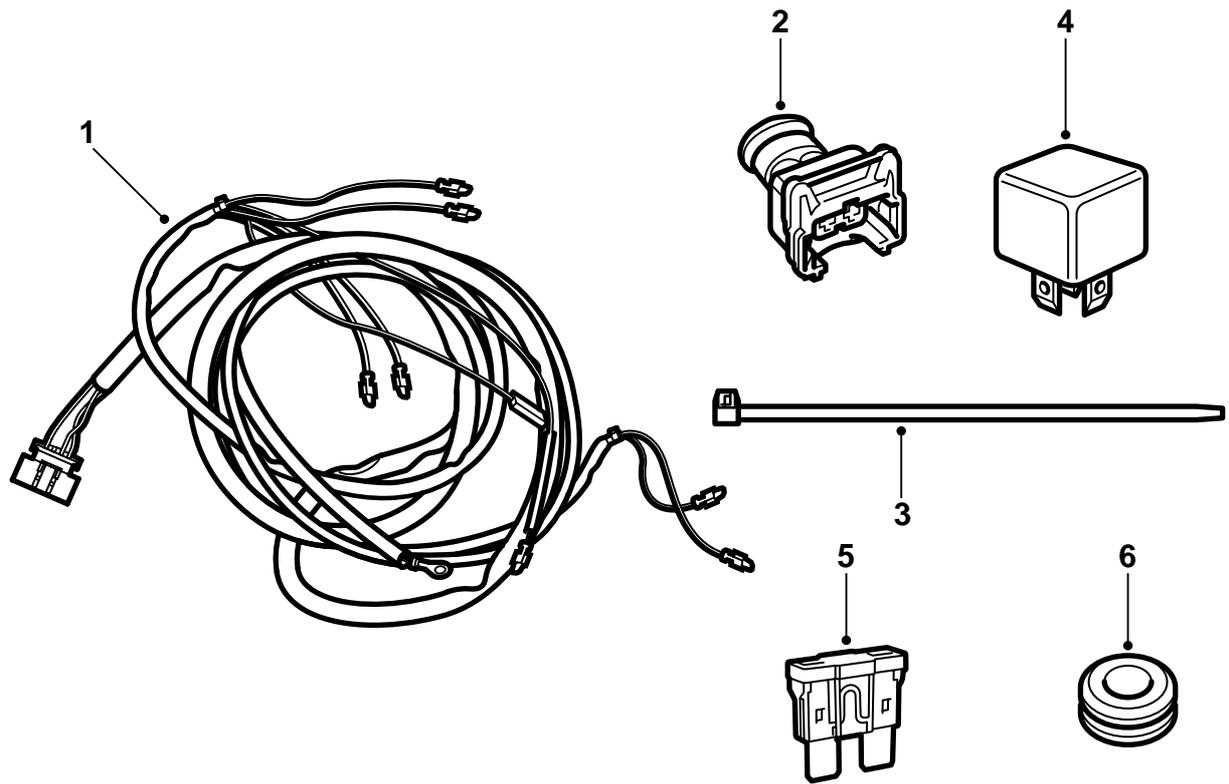
- 1 フューエルライン (x2)
- 2 曲がり接続ホース (x2)
- 3 クリップ (x2)
- 4 曲がり接続ホース
- 5 燃料接続キット (タンク)
- 6 フューエルポンプブラケット
- 7 クリップ
- 8 ラバースペーサー
- 9 ケーブルタイ (x10)
- 10 ケーブルタイ
- 11 ネジ (x2)
- 12 ホースクリップ (x4)
- 13 クリップ (x3)
- 14 ナット (x3)



E980A127

電気接続キット 400 106 654 には以下の部品が入っている：

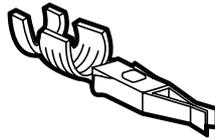
- 1 ワイヤーハーネス
- 2 2極コネクタ
- 3 ケーブルタイ (x11)
- 4 ネジ (x2)
- 5 ブラケット
- 6 グロメット (x2)



E980A342

電気接続キット 400 130 225 には、以下の部品が入っている：

- 1 ワイヤーハーネス
- 2 2極コネクタ
- 3 ケーブルタイ (x11)
- 4 リレー
- 5 15A ヒューズ
- 6 グロメット (x2)



E980A494

追加キット 32 000 515 の内容：
ケーブルターミナル

安全規則



警告

取り付け作業開始前に、必ずこの取り付け説明書を通読しておくこと。

ヒーターの取り付け作業では、フューエルシステムに手を加える必要が生じる。取り付けに際しては以下の点を守ること：

- 換気の良い所で作業すること。燃料蒸気を除去するために認可された換気装置がある場合は、それを使用する。
 - 保護手袋をはめる。長時間燃料にさらされると、皮膚炎をおこすことがある。
 - ABC タイプの粉末消火器を近くに置いておく。回路の断線や短絡によって、火花が発生する恐れがあるので注意すること。
 - 喫煙は厳禁である。
-
- ヒーターの取り付けは、本取り付け説明書に従い、有資格のテクニシャンが行うこと。

重要事項

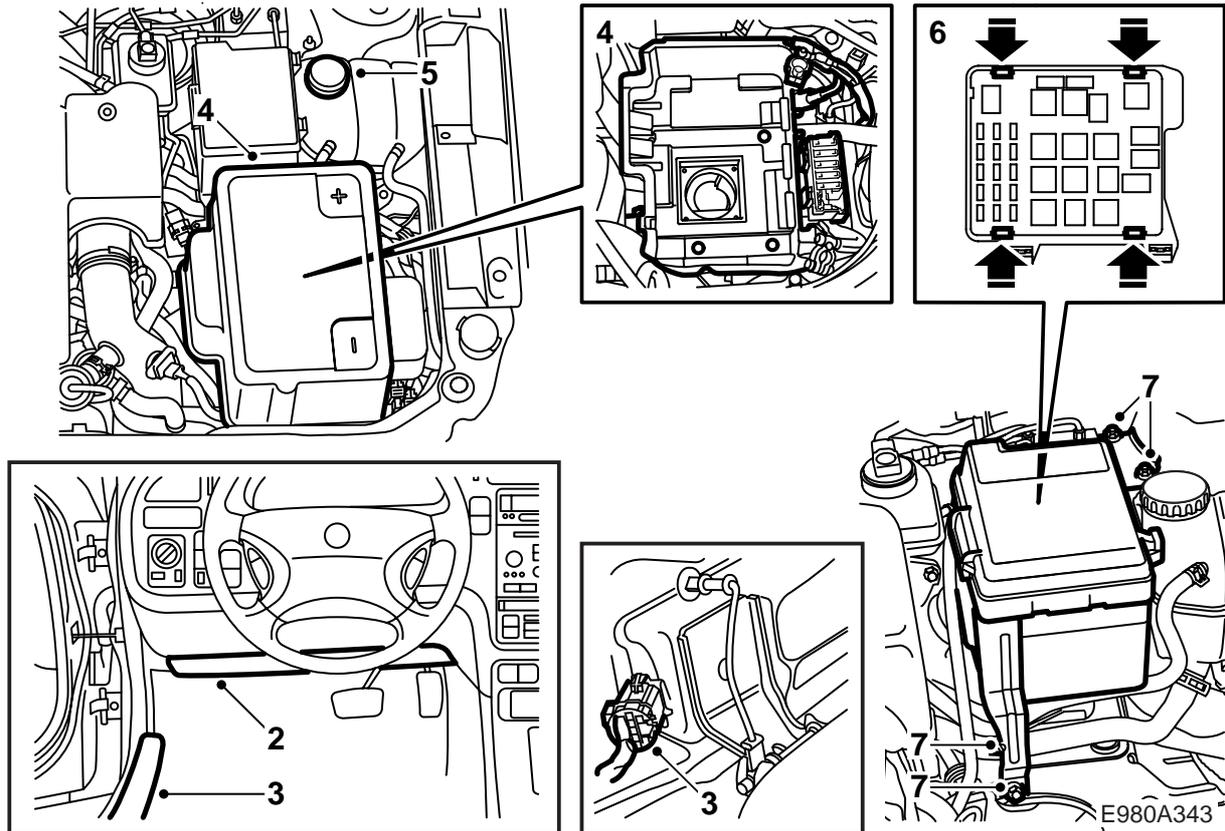
このキットに入っているフューエルラインを中継ぎするときには、エンド部分をしっかりとはめて接続すること。

- 密閉された屋内（ガレージや整備工場など）で、排気ガス用の換気装置を使用せずにヒーターを使用しないこと。
- ガソリンスタンドなどでは、必ずヒーターのスイッチを切っておくこと。

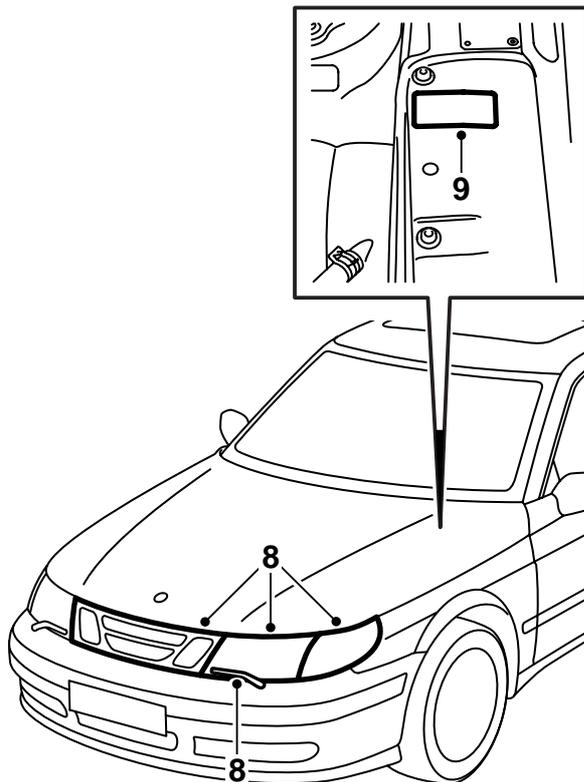
重要事項

ヒーターをパーキングヒーターとして使用する場合、バッテリー容量の一部を消費する。特に冷間時、またバッテリーが既に過酷に使用されている場合に消費量が大きくなる。そのため、外気温度が -20°C 以下でない場合は、ヒーターを使用した時間と少なくとも同じ時間、車を走行するとよい。外気温度がそれ以下の場合は、ヒーターを 30 分間以上使用しないことが望ましい。また、バッテリーの点検をより頻繁に行い、必要に応じて充電すること。

夏期においても少なくとも一ヶ月に一度はヒーターを作動すること。この目的は、長期間静止状態にある燃料が蒸発した結果、作動の不具合の原因となり得る残留物が形成されることを防止するためである。



- 1 車にサブオーディオシステム以外のラジオが装備されている場合は、ラジオコードを調べて記録しておく。
- 2 **LHD:** インストルメントパネルの左側にある防音パネル（故障診断ツールとモデルによってはフロア照明を含む）を取り外す。
RHD: グローブボックスを外す。
- 3 左側のスカッフプレートを外し、リアシートのシートクッションを前に倒す。左側リアシートのヒートパッド（装備車のみ）へのコネクタを外し、リアシートの左側パーツを持ち上げて外す。カーペットを折り上げ、タンク上のカバーを外す。
- 4 バッテリーカバー、バッテリーケーブル、バッテリーを取り出す。
M02-：バッテリートレーを取り外す。
- 5 エキスパンションタンクを外し、作業の妨げにならないようにどける。
- 6 **M02-**：メインヒューズボックスのカバーを開け、4 個のキャッチを押し入れてリレープレートを持ち上げる。
- 7 **M02-**：エンジンルームのメインヒューズボックスの接続を外して持ち上げる。メインヒューズボックスのマウンティングブラケットからケーブルタビを外し、メインヒューズボックスを取り外す。

-MY01

- 8 **-M01** : グリル、ヘッドライトワイパーアーム、ターンシグナルライト、およびヘッドライトを取り外す。左側ヘッドライトワイパーモーターを外す。

重要事項

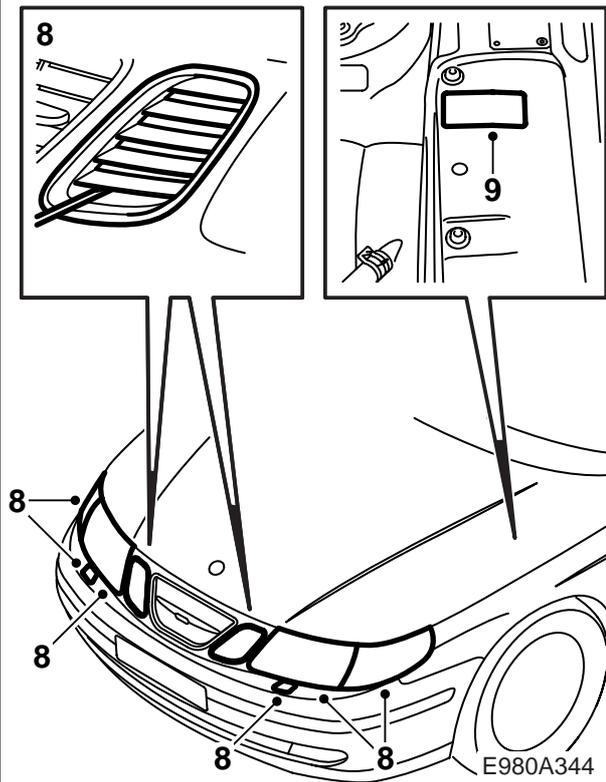
ヘッドライトとボディ間のスペーサーワッシャーがある場合は外して取っておく（ヘッドライトを再び取り付ける際に必要となるため）。

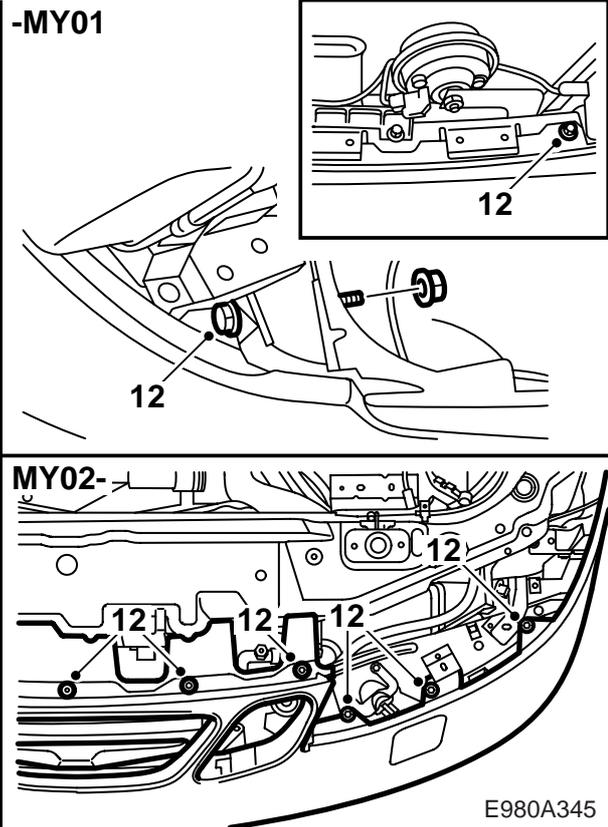
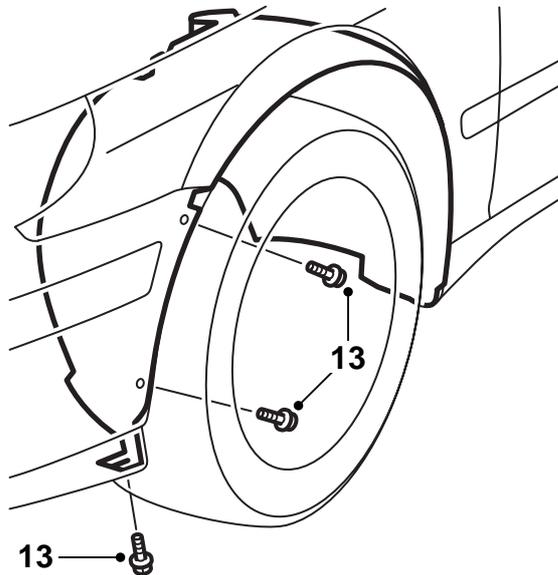
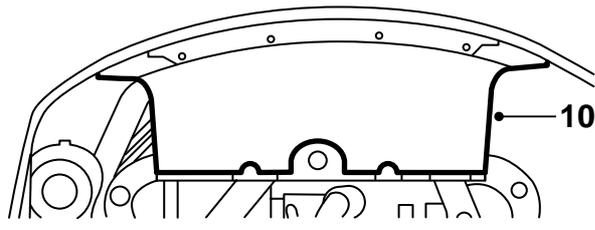
M02-05 : グリルの両方の外側パーツ、ターンシグナルライト、ヘッドライト、ヘッドライトウォッシャーのカバーを取り外す。

- 9 左側フロントフェンダーの冷却システムエキスパンションタンクがある高さの所を、洗浄用ガソリンで清掃する。追加ラベルをヒーターからはがし、清掃した場所に取り付ける。

重要事項

どのような場合でも、ラベルの上にラベルを重ねてはいけない（ラベルの一部でも隠れてはいけない）。

MY02-



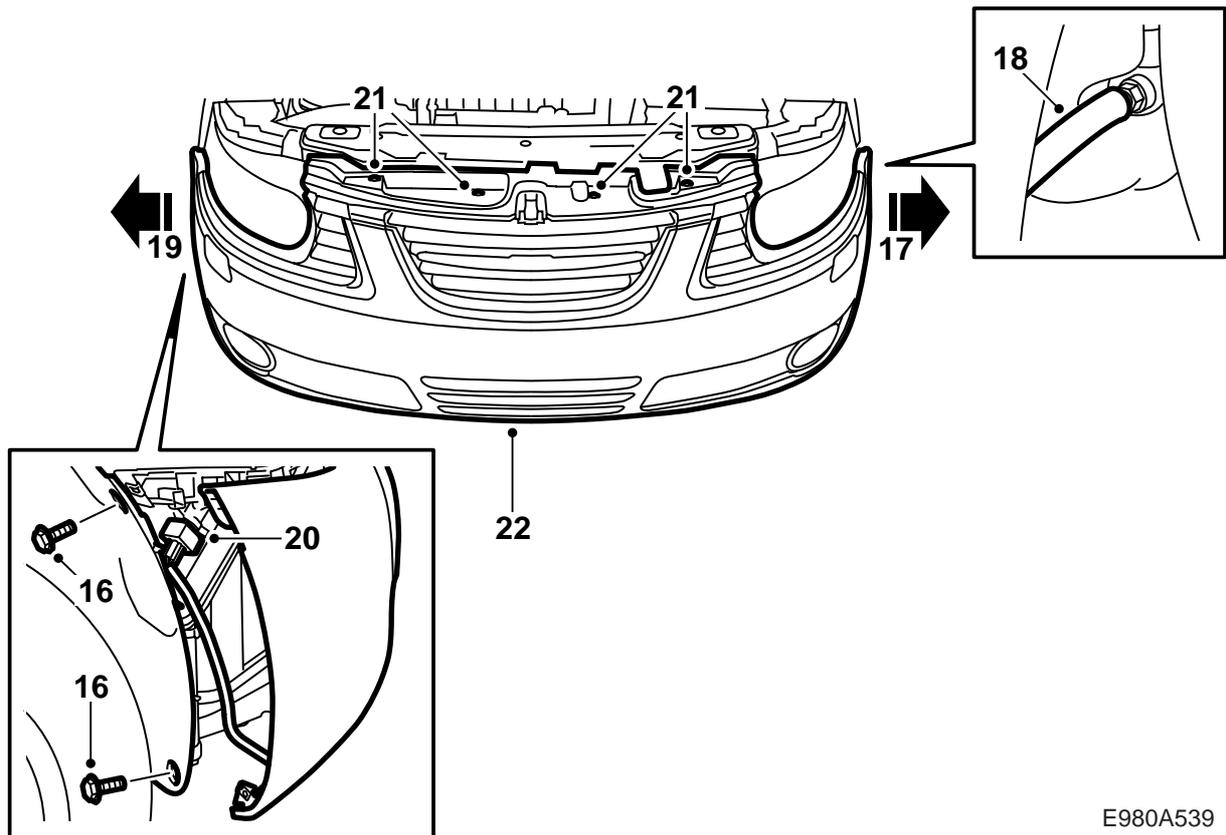
10 車両を上げる。

警告

フューエルポンプの取り付けの際にスペースが確保できるように、右後方リフト支持位置をできるだけ外側に配置する。

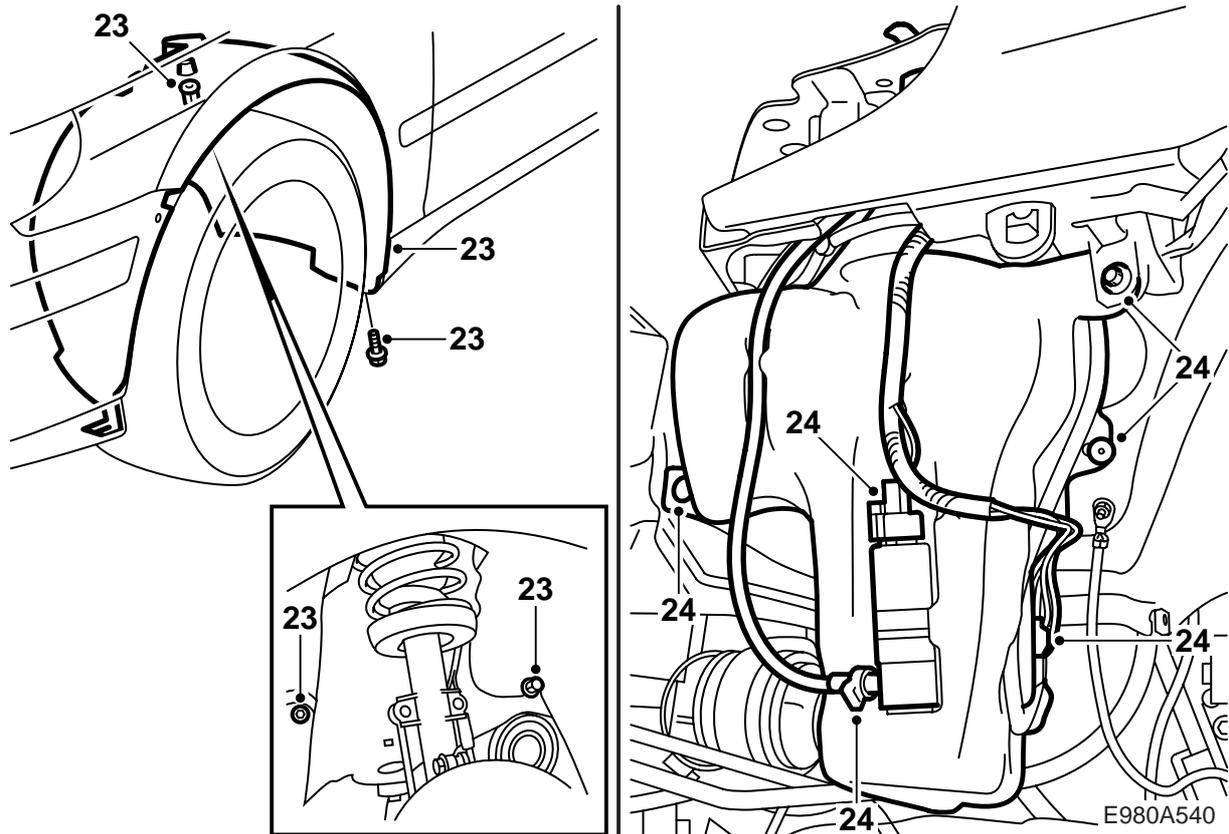
フロントスポイラーシールドを取り外す。

- 11 バンパーのパーキングヒーター用コネクタ(ある場合)を取り外す。
- 12 **-M01** : バンパーをバンパービームに保持している4本のボルトを外し、バンパーをフロントフェンダーに保持しているナットを外す。
M02-05 : バンパーをバンパービームに保持している6本のボルトを外し、グリルの上にある5個のクリップを外す。
- 13 **-M05** : バンパーをホイールアーチライナーに保持している6本のボルト(片側3本ずつ)を外す。
- 14 **M98** : フォグライト用コネクタと温度センサーがある場合は、分離する。
M99-01 : バンパーのワイヤーハーネス用コネクタを分離する。コネクタは左側のヘッドライトの下にある。
M02- : バンパーのワイヤーハーネス用コネクタを分離する。コネクタは右側のヘッドライトの下にある。
- 15 **-M05** : バンパーをフロントフェンダーの両側から外し、前方に引いて外す。



E980A539

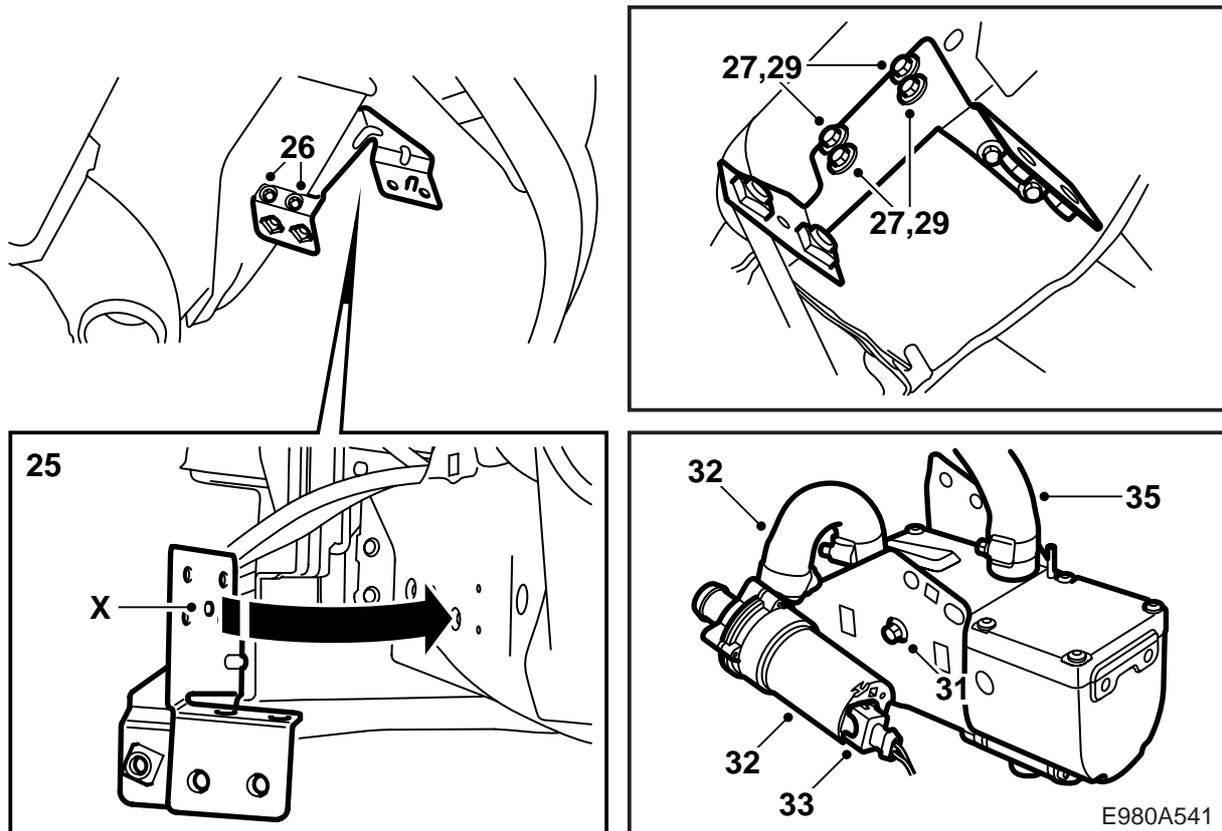
- 16 **M06-**: バンパーシェルボルトをホイールアーチライナーの両側から取り外す。
- 17 **M06-**: シェルを左側のサイドブラケットから外す。ドライバーでフックを外す。
- 18 **M06-**、**ヘッドライトウォッシャー装備車**: 車両の下に受け皿を置く。ヘッドライトウォッシャー用ホースのクイックリリースカップリングを取り外す。ウォッシャー液リザーバー接続部の穴をふさぐ。
- 19 **M06-**: シェルを右側のサイドブラケットから外す。ドライバーでフックを外す。
- 20 **M06-**: フロントバンパーハーネスのコネクターを分離する。
- 21 **M06-**: バンパーシェルの上部クリップを取り外す。ボルトを取り外す。
- 22 **M06-**: 同僚の手助けを借りて、バンパーシェルを持ち上げて外す。



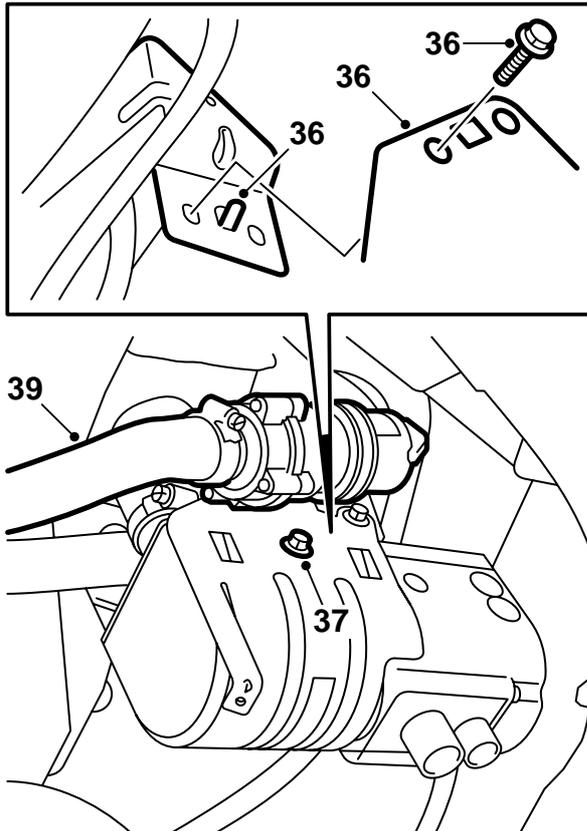
- 23 左側フロントホイールを外し、左側ホイールアーチライナーを外す。
- 24 ポンプとレベルセンサーへのコネクタを外す。ウォッシャー液タンクを空にする。
タンクがブラインドリベットで取り付けられている場合は、ドリルでリベットを外す。リベットのセンターピンを叩き入れ、直径 4 mm のドリルで、その後 5 mm のドリルで穴を開けてブラインドリベットを外す。ウォッシャー液タンクを外し、下に降ろす。

重要事項

周囲の部品を損傷させないため、この手順を**必ず**順守すること。



- 25 図のように、ブラケットをボディシエルのプレスひだの前に、ブラケットの凸部 (X) がボディシエルの凹部に合うように配置する。下側の 2 つの穴の位置をマークする。
- 26 ドリルで、ボディシエル下側にブラケット用の穴 (3 mm) を 2 つ開け、ブラケットをネジで締め付ける。
- 27 ドリルで、サイドから 3 mm の穴を 4 つ開け、ブラケットを外す。
- 28 ネジ穴のバリ取りをし、切り屑やペイント屑を取り除く。Teroson のクリーナー FL で清掃する。Standex 1K Fullprimer を塗布し、仕上げコートを塗る。
- 29 ブラケットを取り付ける。
- 30 ヒーターをホルダーに配置し、固定ラグにしっかりとまるようにする。
- 31 ヒーターをホルダー内に保持する 2 本のネジを取り付ける。
- 32 循環ポンプにホースとホースクリップを付け、ヒーターの吸気側に取り付ける。図を参照する。ポンプは、本説明書の後でブラケットへ取り付ける。
- 33 ヒーターから 2 極コネクタを循環ポンプに接続する。
- 34 圧力ホース (46 72 317 (-M01) および 53 23 118 (M02-)) をエンジンルームに引き入れる。ホースのやや太い端の方を、まずラジエーターとサポートフレームの間に導き、サポートフレームの前部ブラケットの前に引入れる。
- 35 圧力ホースの、やや太い方の接続部をヒーターの出力側に取り付ける。図を参照する。



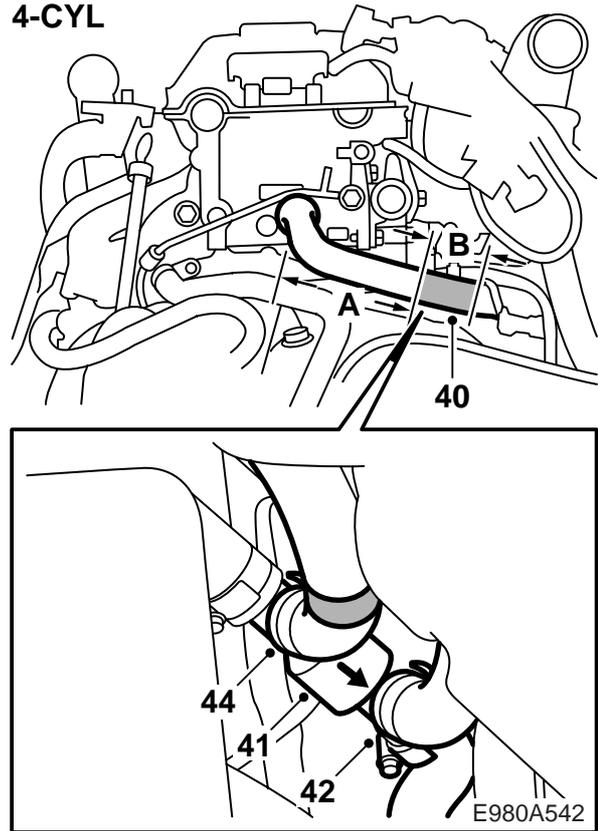
- 36 ホルダーにヒーターを付けたままで、ブラケットの前端のフックにかけ、ホルダーのネジを締める。
- 37 ヒーターをホルダーに保持する2本のネジを締め付ける。
- 38 エキスパンション液タンクのキャップを少し緩め、過剰圧力を逃がしてから、再びキャップを締める。

警告

車のエンジンが熱いときは十分に注意すること。冷却液は非常に高温である。エキゾーストマニフォールドでヤケドを負う恐れもあるので注意する。

- 39 **4気筒**：インテークホース (45 77 995 (-M01) および 53 23 100 (M02-))の端をテープか色でマークを付ける。エンジンルームからヒーターに向けて、やや太い方の端からホースを導き、循環ポンプの吸気接続部の上に取り付ける。図を参照する。
- 40 **4気筒**：エンジンから車内の熱交換器まで接続している冷却液ホースをプライヤー (30 07 739、2個)で挟み、ホースを図のように切って短くする。
- A 140 mm (-M01)
220 mm (M02-)
- B 90 mm (-M01)
70 mm (M02-)

4-CYL



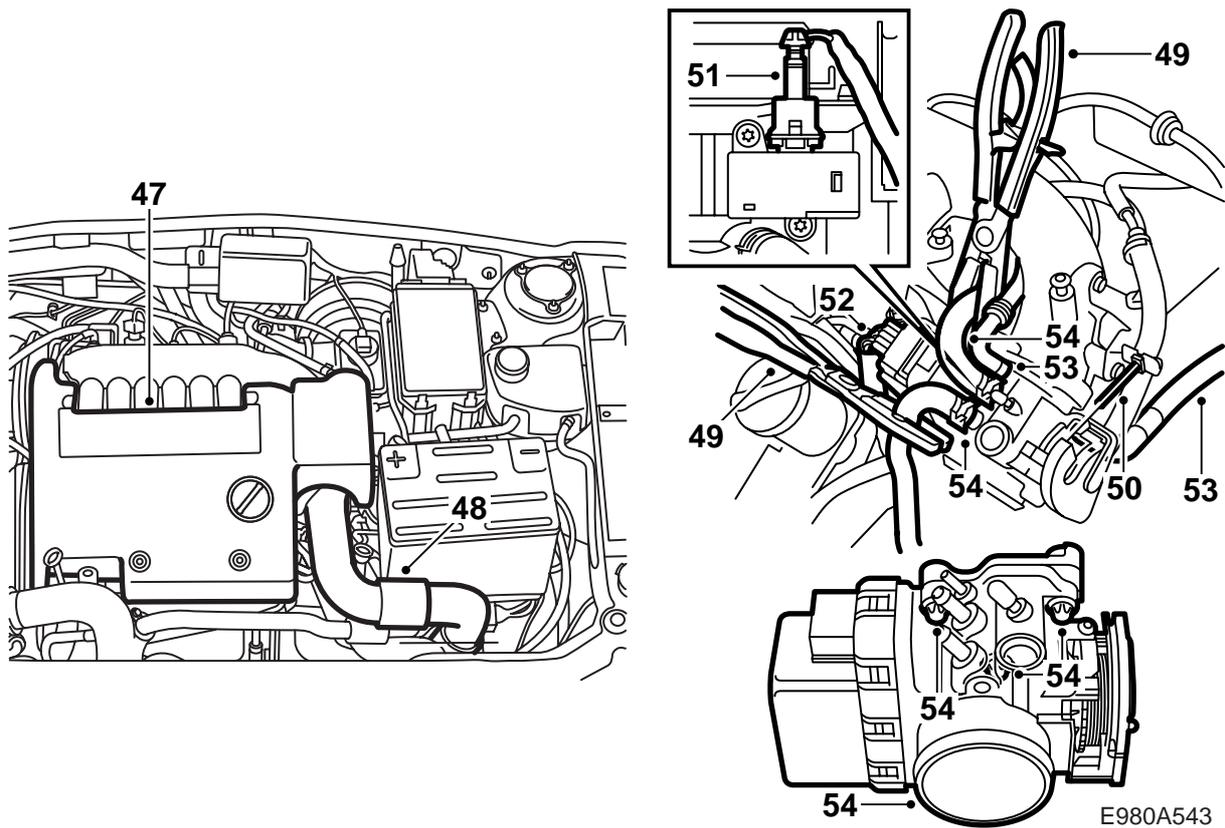
- 41 **4気筒**：ノンリターンバルブを2個のクリップを使用して、切り取った方のホースに取り付ける。

重要事項

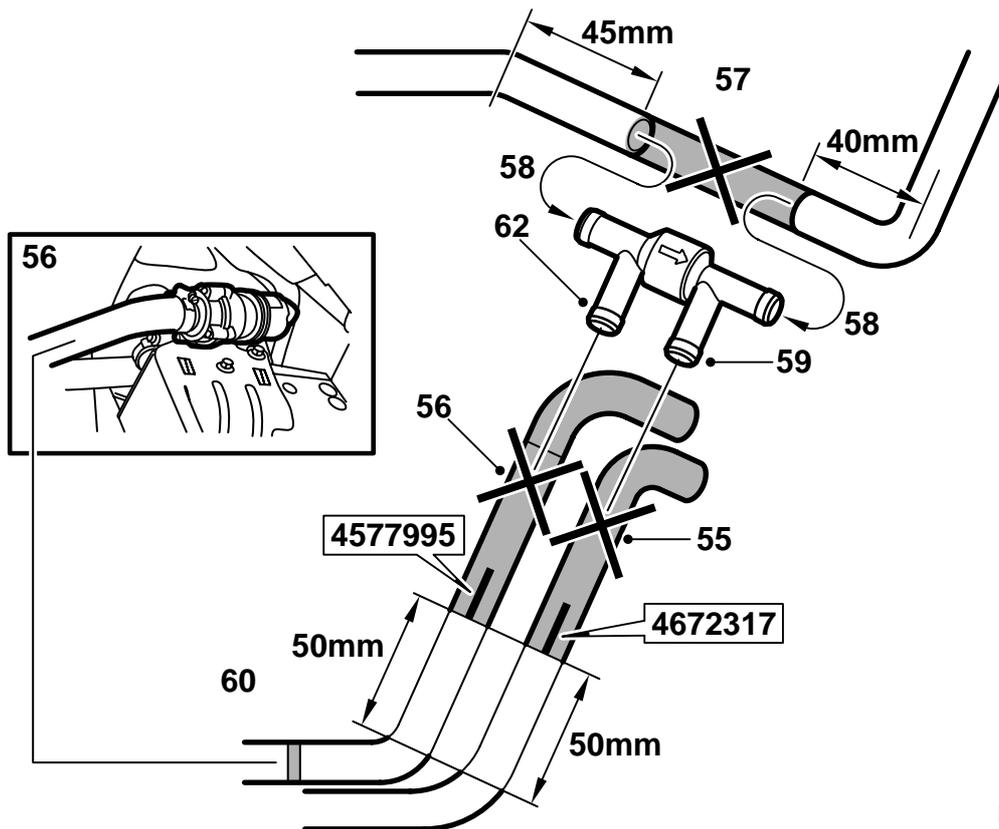
ノンリターンバルブ内の流れがヒートアセンブリの方に行くようにする。図を参照する。

ヒーターへの接続が上向きになるように取り付ける。

- 42 **4気筒**：マークの付いていない方のホース (圧力ホース) を、ヒーターからノンリターンバルブに接続する。
- 43 **4気筒**：マークの付いたホース (インテークホース) にじょうごを付け、ホースを支え持ち、ヒーター装置に冷却液を補充する。ホース全体に液を入れる。
- 44 **4気筒**：じょうごを取り外し、ホースを挟み、ノンリターンバルブに、ホースクリップで接続する。
- 45 **4気筒**：プライヤーを取り外し、冷却液を補充し、圧力テスターで装置からの漏れを点検する。
- 46 **4気筒**：ホースが折れ曲がってつぶれていないか、あるいは損傷していないか点検する。また、ホースが高温となる表面や鋭利な部品に接触していないか点検する。必要に応じ、キットに入っているケーブルタイで固定する。



- 47 **V6:** エンジンカバーを取り外す。
- 48 **V6:** ターボ圧パイプをスロットルボディから緩めてどける。
- 49 **V6:** スロットルボディへの2本の冷却ホースを挟む。
- 50 **V6:** スロットルボディのペダルアームからアクセルペダルのワイヤーを外す。
- 51 **V6:** リンプホームのソレノイドのコネクターを外す。
- 52 **V6:** スロットルボディの10極コネクターを外す。
- 53 **V6:** バキュームホースと、リンプホームソレノイドの下にあるベンチレーションラインへの接続を外す。
- 54 **V6:** スロットルボディの3本の固定ボルトとスロットルボディを取り外す。



E980A544

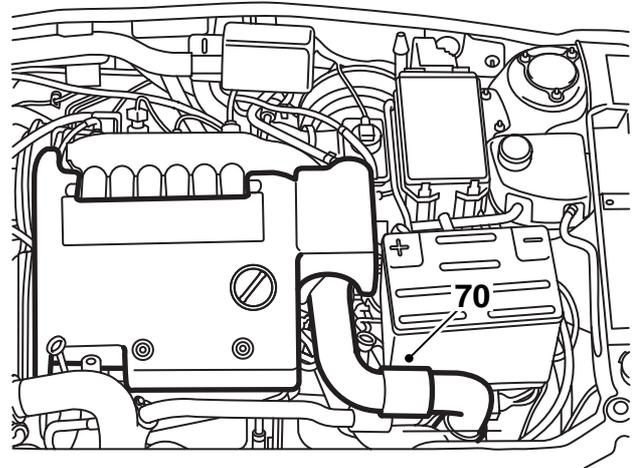
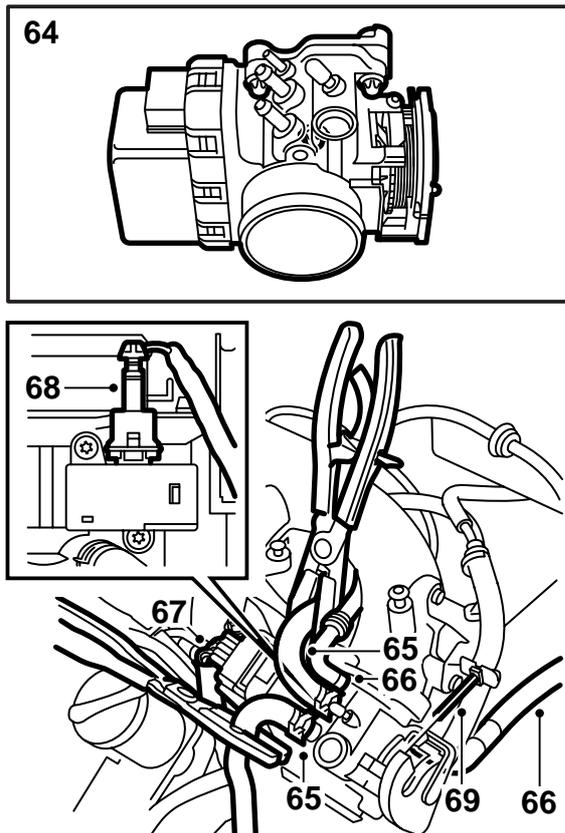
- 55 **V6:** 反対側の端がヒーターの出力側に取り付けられている圧力ホース (46 72 317) を、図を参照して切り取る。
- 56 **V6:** インテークホース (45 77 995) の端に、テープか色でマークを付ける。図のように、ホースの端を切り取る。切り取っていない方 (やや太い方) の端をエンジンルームからヒーターに向けて導き、循環ポンプの吸気接続部の上に取り付ける。
- 57 **V6:** エンジンから熱交換器までをつなぐ冷却ホースの、切り取るべき部分を測って、マークを付ける。図を参照する。冷却液ホースをプライヤー (30 07 739) 2 個で挟み、ホースを切り取る。
- 58 **V6:** ノンリターンバルブを 2 個のクリップを使用して、切り取った方のホースに取り付ける。
- 61 **V6:** じょうごを取り外し、ホースを挟み、図のようにノンリターンバルブにクリップを使って接続する。
- 62 **V6:** プライヤーを取り外し、冷却液を補充し、圧力テスターで装置からの漏れを点検する。
- 63 **V6:** ホースが折れ曲がってつぶれていないか、あるいは損傷していないか点検する。また、ホースが高温となる表面や鋭利な部品に接触していないか点検する。必要に応じ、キットに入っているケーブルタイで固定する。

重要事項

ノンリターンバルブ内の流れがヒートアセンブリの方に行くようにする。図を参照する。

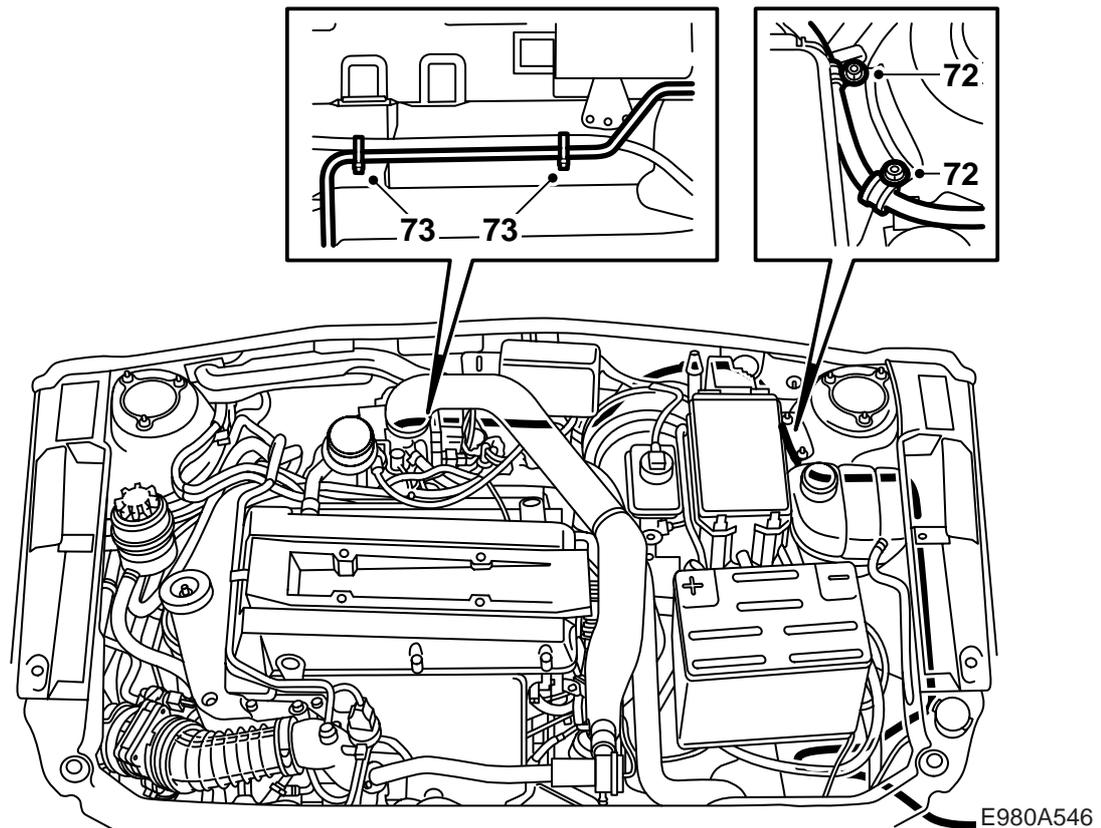
ヒーターへの接続方向は、図を参照する。

- 59 **V6:** マークの付いていない方のホース (圧力ホース) を、ヒーターからノンリターンバルブに接続する。図を参照する。
- 60 **V6:** マークの付いたホース (インテークホース) にじょうごを付け、ホースを支え持ち、ヒーター装置に冷却液を補充する。ホース全体に液を入れる。



E980A545

- 64 **V6:** スロットルボディを位置決めし、3本の固定ボルトで取り付け。必要に応じて、ワセリンを薄く塗った新しいシールを1個取り付ける。
- 65 **V6:** 2本の冷却ホースをスロットルボディに接続する。
- 66 **V6:** バキュームホースと、リンプホームソレノイドの下にあるベンチレーションラインへの接続を取り付ける。
- 67 **V6:** スロットルボディの10極コネクタを接続する。
- 68 **V6:** リンプホームのソレロイドのコネクタを接続する。冷却ホースからプライヤーを取り外す。
- 69 **V6:** アクセルペダルワイヤーを固定する。
- 70 **V6:** ターボ圧パイプをスロットルボディに接続する。



71 長いフューエルホースを、以下のようにエンジンルームに引き入れる：

警告

フューエルホースが折れ曲がったり、損傷しないように注意する。

LHD -M01: バッテリートレイから - エキスパンションタンクの横を通過して（ホースの湾曲部分がスプリングストラットの前にくるように） - ブレーキサーボの下を通り - ABS ユニットへのブレーキパイプの上を通り - 車内の熱交換器へのホースの上を通り - 後輪のブレーキケーブルに沿って、配置する。バルクヘッドとフロアパネル間の接点付近で、このフューエルラインを他のフューエルラインと同じ方向に向ける。

LHD M02-: バッテリートレイから - エキスパンションタンクの横を通過して（ホースの湾曲部分がスプリングストラットの前にくるように） - ブレーキサーボとバルクヘッドの間を通り - ブレーキパイプの上を通り - 車内の熱交換器へのホースの上を通り - 後輪のブレーキケーブルに沿って、配置する。バルクヘッドとフロアパネル間の接点付近で、このフューエルラインを他のフューエルラインと同じ方向に向ける。

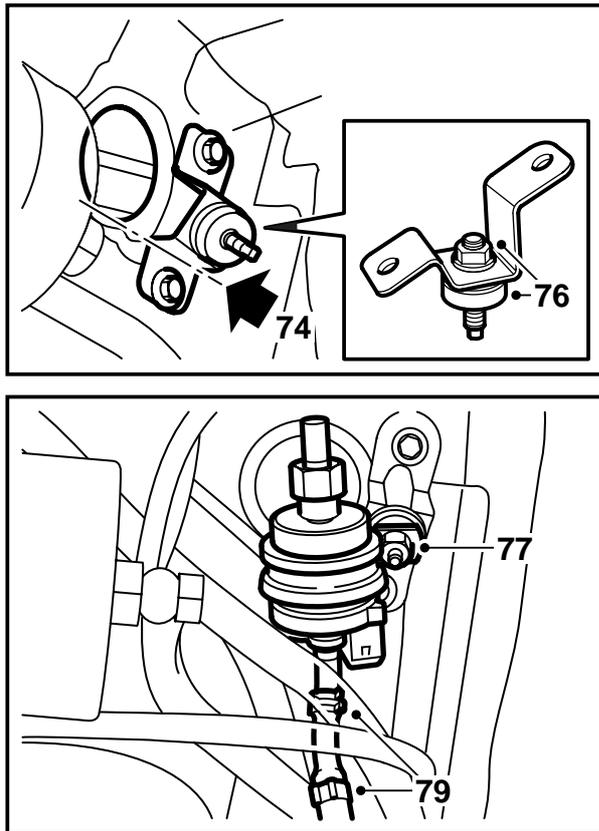
RHD -M01: バッテリートレイから - エキスパンションタンクの横を通過し（ホースの湾曲した部分がスプリングストラットの前にくるように） - ABS ユニットへのブレーキパイプの上を通り - 車内の熱交換器へのホースの上を通り - リアエンジンマウンティングとステアリングギアのバルブハウジング間を通り、ステアリングサーボパイプとアンチロールバーの後方に、配置する。バルクヘッドとフロアパネル間の接点付近で、このフューエルラインを他のフューエルラインと同じ方向に向ける。

RHD M02-: バッテリートレイから - エキスパンションタンクの横を通り（ホースの湾曲部分がスプリングストラットの前にくるように） - ブレーキパイプの上を通り - 車内の熱交換器へのホースの上を通り - リアエンジンマウンティングとステアリングギアのバルブハウジング間を通り、ステアリングサーボパイプとアンチロールバーの後方に、配置する。バルクヘッドとフロアパネル間の接点付近で、このフューエルラインを他のフューエルラインと同じ方向に向ける。

- 72 ホースをスプリングストラットタワーに 2 個のラバークリップで固定する。
- 73 ホースを隔壁のワイヤーハーネスにケーブルタイで固定する。

重要事項

フューエルホースの位置を調整しやすくするために、ケーブルタイはまだ引き締めないでおく。



74 車両を上げる。フューエルフィルターのカバーを外す。フューエルポンプのブラケットをフューエルフィルターの前に置く。

重要事項

ブラケットは曲がっている。適切に配置するために、図のように曲がっている角と穴の端が一直線になるようにする。また、凸部が車の右側を向いているようにする。

ブラケットをテンプレート（型紙）として使って、フロアに 3 mm の穴をあける。



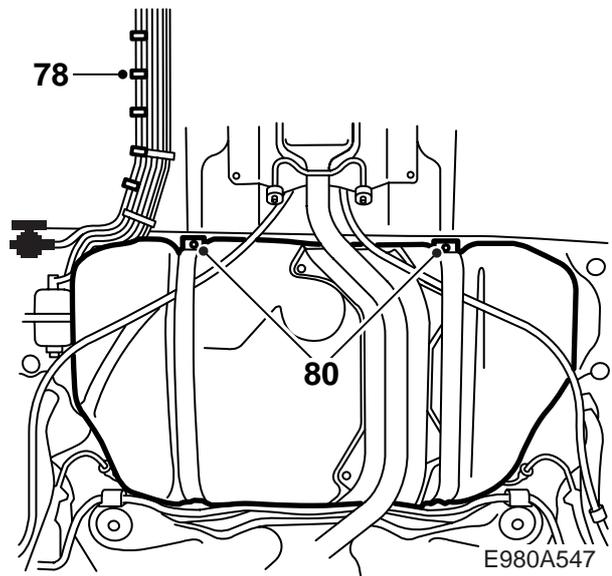
警告

車のその他のフューエルホースが損傷しないように注意する。

75 ネジ穴のバリを取り、切り屑やペイント屑を取り除く。Terosonのクリーナー-FLで清掃する。Standex 1k Fullprimer を塗布し、仕上げコートを塗る。ネジ穴シール剤の Terotex HV400 または Mercasol 1 をネジ穴に塗布する。

76 ラバースペースをブラケットに取り付け、ブラケットのネジを締める。

77 ホルダーをフューエルポンプに配置し、ブラケットに圧力側（小さい方の接続部）を車の左側に取り付ける。図を参照する。ポンプの圧力接続部（小さい方）が上向きになるように取り付けること。



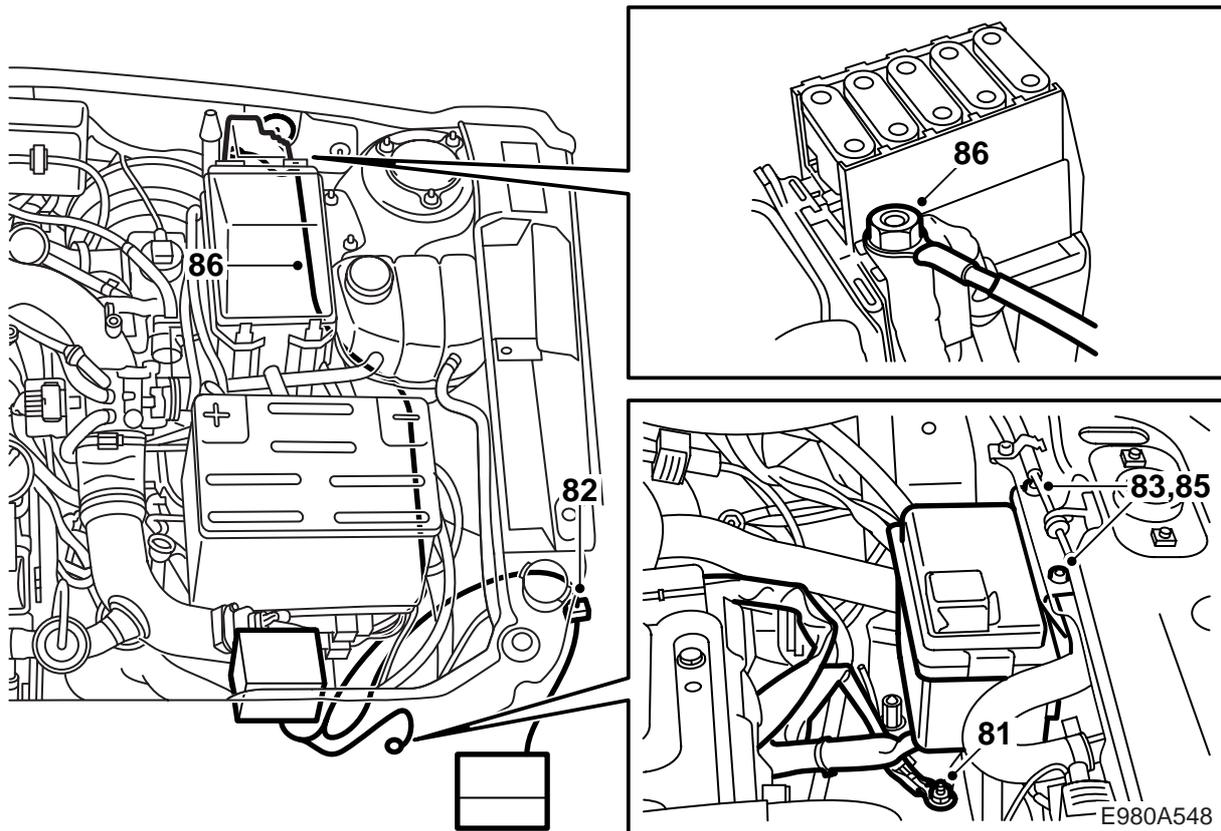
78 8本のケーブルタイを使用し（あまり強く引き締めないこと）、このフューエルラインを車の下にあるフューエルパイプと平行になるように取り付ける。図を参照する。

79 接続用ホース付きの曲がりラインを、フューエルポンプの圧力側へ2個のクリップで接続する。

重要事項

必要であればポンプの長さを調整し、ポンプのコネクターが周囲のパーツに接触しないようにする。ホースに折れ曲がった部分が無いかどうかも確認する。

80 4個のボルトを約15回転させて緩め、フューエルタンクを下げる。これでタンクが約15mm下がる。



- 81 車両を下げ、ケーブルターミナル付きの黒いケーブルを、バッテリートレイ前の G2 (-M01)、およびバッテリートレイの左側 G30 (M02-) (バッテリーのマイナスケーブルが接続されているアースポイントではない) アースポイントに接続する。
- 82 8 極コネクタを、ボディフレームと左側のフロントフェンダーの間に導き、ヒーターに接続する。

重要事項

ヒーター用の 8 極コネクタはテープでシールされているので、接続前にはがすこと。しかし、コネクタの端子には絶対触れないこと。

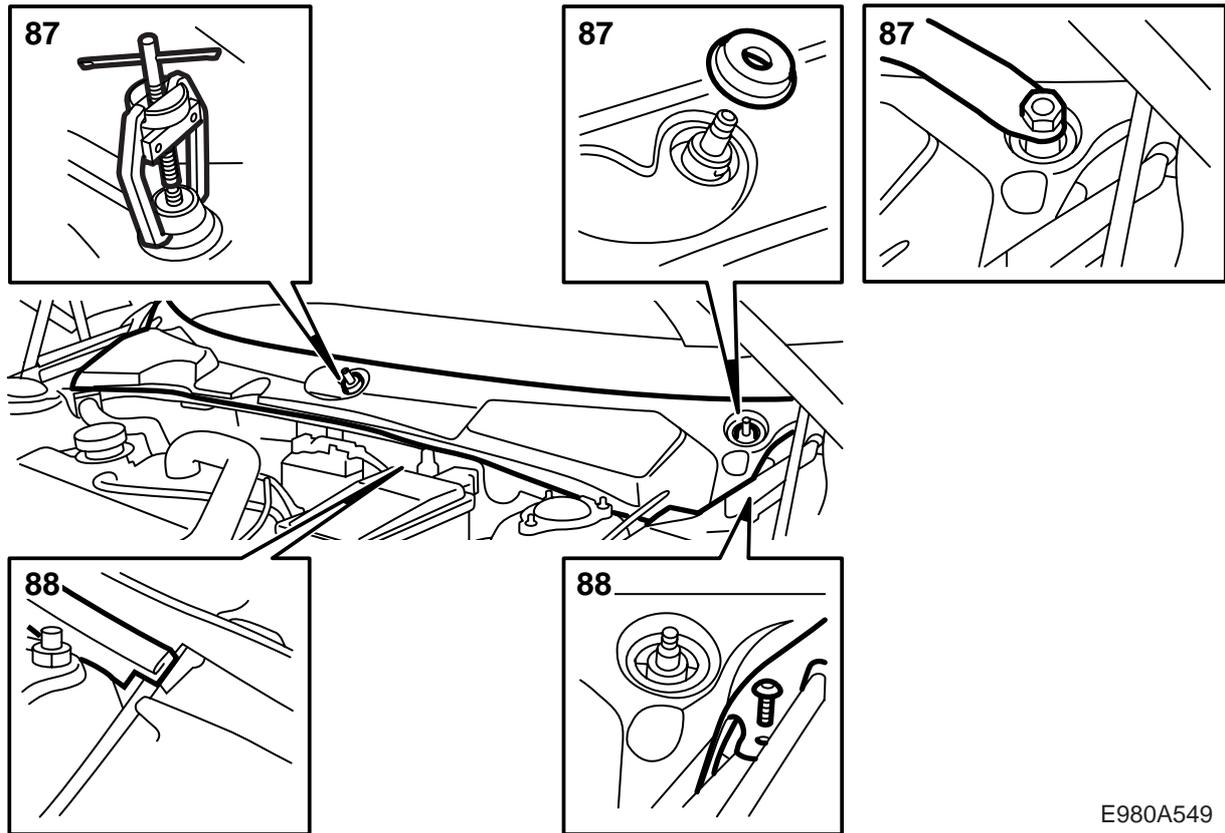
ケーブルが高温となる表面や鋭利な部品に接触しないように、必要に応じて固定する。

- 83 -M01: ヒーター用ヒューズボックスのブラケットを、ボンネットキャッチの中央の位置にくるように、ラジエーターメンバー上に置く。図を参照する。ヒューズボックスが冷却ホースに立てかけられていないこと。ブラケットをテンプレートとして利用して、5.5 mm の穴を 2 個あける。

重要事項

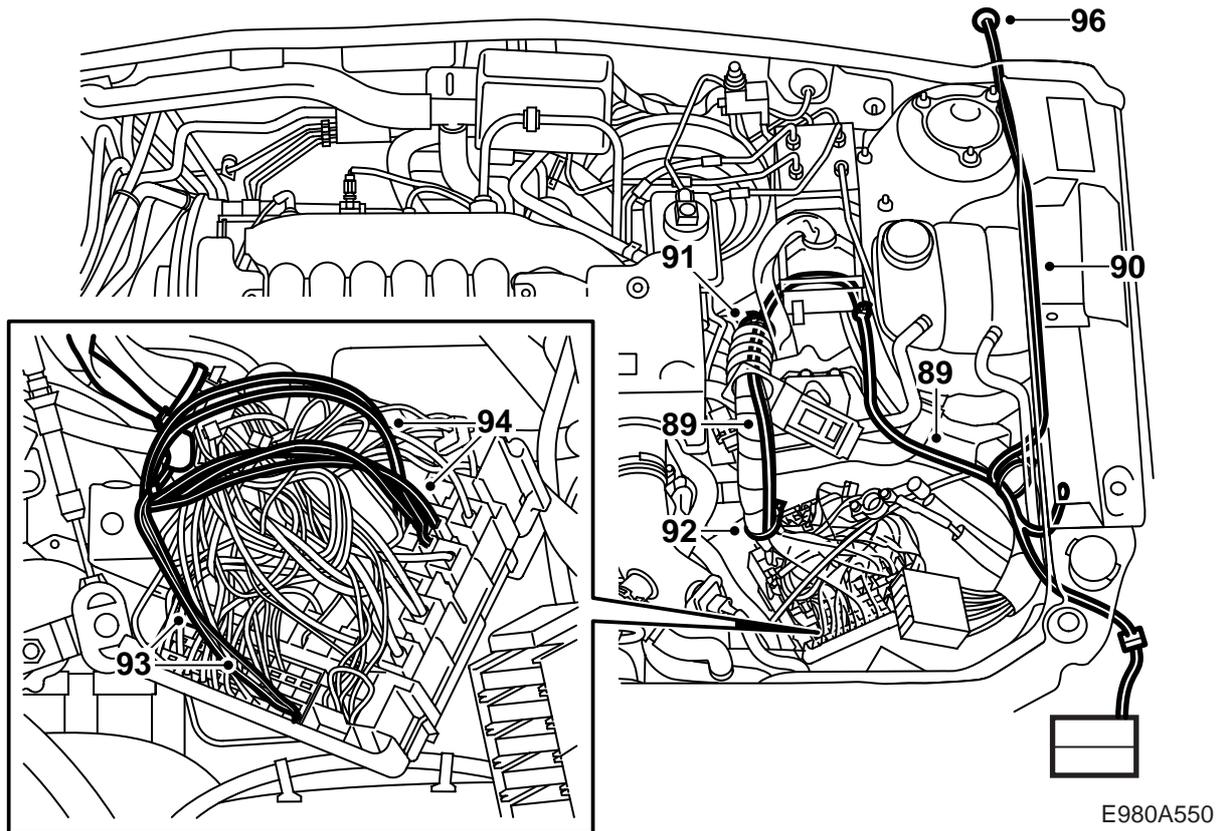
ボンネットキャッチワイヤーと、ラジエーターからエキスパンションタンクへのエキゾーストホースが損傷しないように、十分注意する。

- 84 -M01: ネジ穴のバリを取り、切り屑やペイント屑を取り除く。Teroson のクリーナー FL で清掃する。Standex 1k Fullprimer を塗布し、仕上げコートを塗る。
- 85 -M01: ラジエーターメンバーの下にブラケットを配置し、ネジで締め付ける。ヒューズボックスを取り付ける。
- V6 -M01:** ヒューズボックスを取り付ける際、インタークーラーとスロットルハウジング間のホース (2 つのセンサーが取り付けられている箇所) は、必要であればひねることができる。
- 86 -M01: ワイヤハーネスの赤いケーブル (ケーブルターミナル付き) をマキシヒューズホルダーのターミナルブロックに接続する。



E980A549

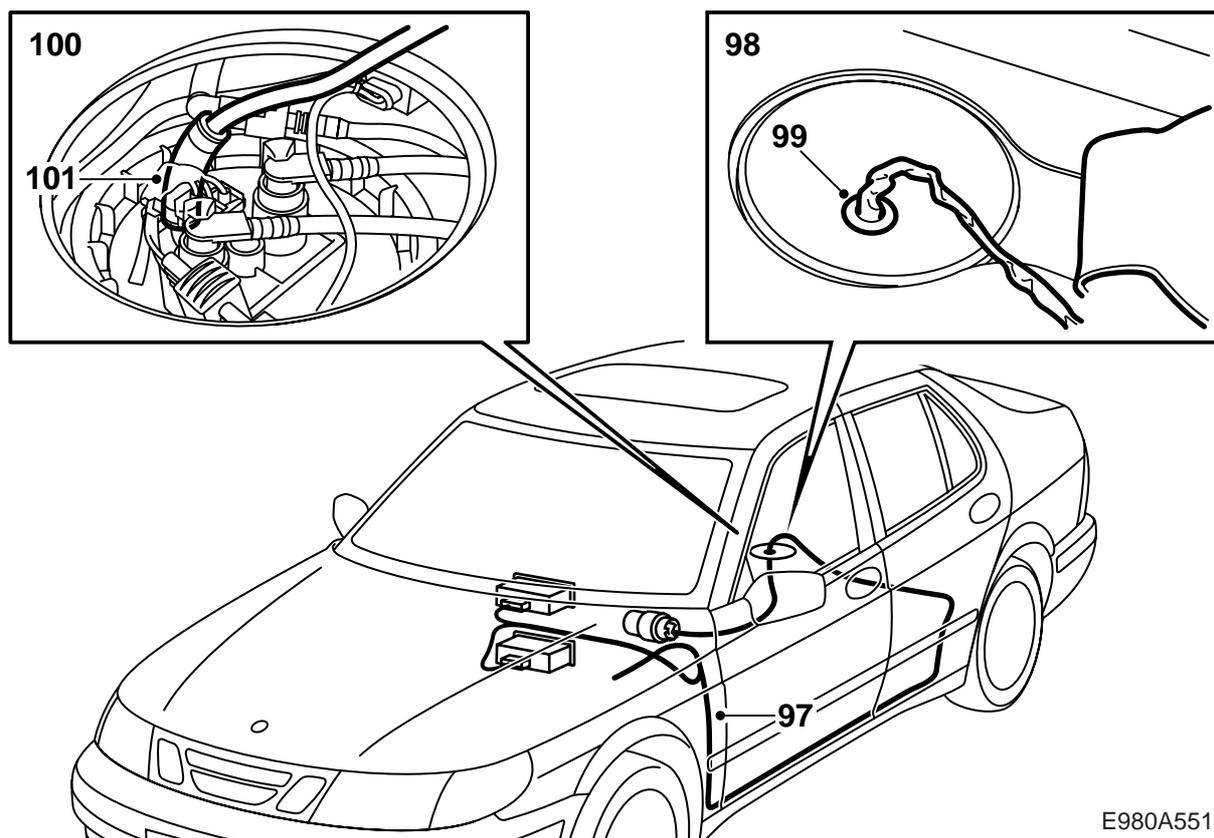
- 87 ウィンドシールドワイパーアームを取り外す。プ
ラー 85 80 144 を使用する。
- 88 ボンネットシールモールディングを外し、バルク
ヘッドスペース上のカバーを取り外す。



- 89 **M02-** : ケーブル類付きのワイヤーハーネスの一部を、車両の通常のワイヤーハーネスに沿ってエンジンルームのヒューズボックスまで導く。
- 90 車内まで引き入れるワイヤーハーネスの一部を冷却液タンクとボディ間に配置する。カウルスペース内のボンネットキャッチワイヤーに沿って作業を続ける。
- 91 **M02-** : メインヒューズボックスのゲイター (カバー) に付いているテープとケーブルタイを外し、ケーブルをメインヒューズボックスのゲイターに通す。
- 92 **M02-** : メインヒューズボックスのワイヤーハーネスをリレープレートに固定しているケーブルタイ横に、テープの端を配置して、キット内容のワイヤーハーネスを車両のワイヤーハーネスに固定する。ケーブルタイを白いマークに配置する。
- 93 **M02-** : 赤 / グレーケーブル、および赤 / 白ケーブルの付いたワイヤーハーネスのケーブルターミナルを、ヒューズ FF5 に接続する。
- 94 **M02-** : ケーブルをリレープレート FR5 に以下のように接続する (カッコ内の数字が上側にマークされている) :
- 赤 / 白ケーブルを 84 の位置 (1) へ
 - 赤 / 白ケーブル 2 本を 80 の位置 (3) へ
 - 青いケーブルを 82 の位置 (2) へ
 - 茶色いケーブルを 81 の位置 (5) へ
- 95 グロメット 1 個をワイヤーハーネスに通す。

96 **LHD** : ボンネットキャッチワイヤーのグロメットの左にあるプラグを外す。絶縁材に穴を開ける。ワイヤーハーネスを車内に引き入れる。マークがグロメットの所にくるまで、ワイヤーハーネスを引き入れる。グロメットを所定の位置に押し入れ、Teroson T242 (パーツ番号 30 15 781)、またはそれと同等のシール剤を塗布する。

RHD : ラバープラグがある所の (触れると少し高くなっている) 絶縁マットを取り外す。ラバープラグを外し、絶縁材に穴を開ける。ワイヤーハーネスを車内に引き入れる。マークがグロメットの所にくるまで、ワイヤーハーネスを引き入れる。グロメットを所定の位置に押し込む。Teroson T242 (パーツ番号 30 15 781)、またはそれと同等のシール剤を塗布する。



E980A551

- 97 フューエルポンプ用（紫と黒）のケーブルを、バルクヘッドから左側の A ピラーまで引く。そこから、左側スカッフプレートにあるプラスチックの溝を通し、カーペットの下、リアシートの下の穴まで引く。
- 98 図のように、フューエルタンク上のカバーにグロメット用の 15 mm の穴をあける。図を参照する。
- 99 グロメットをワイヤーハーネス上に取り付け、ワイヤーハーネスをカバーに通して引き込む。グロメットを所定の位置に押し込む。
- 100 フューエルポンプカバーのパイプ端に、6.2 mm の穴をドリルで注意してあける。ドリルを斜めにしないこと。

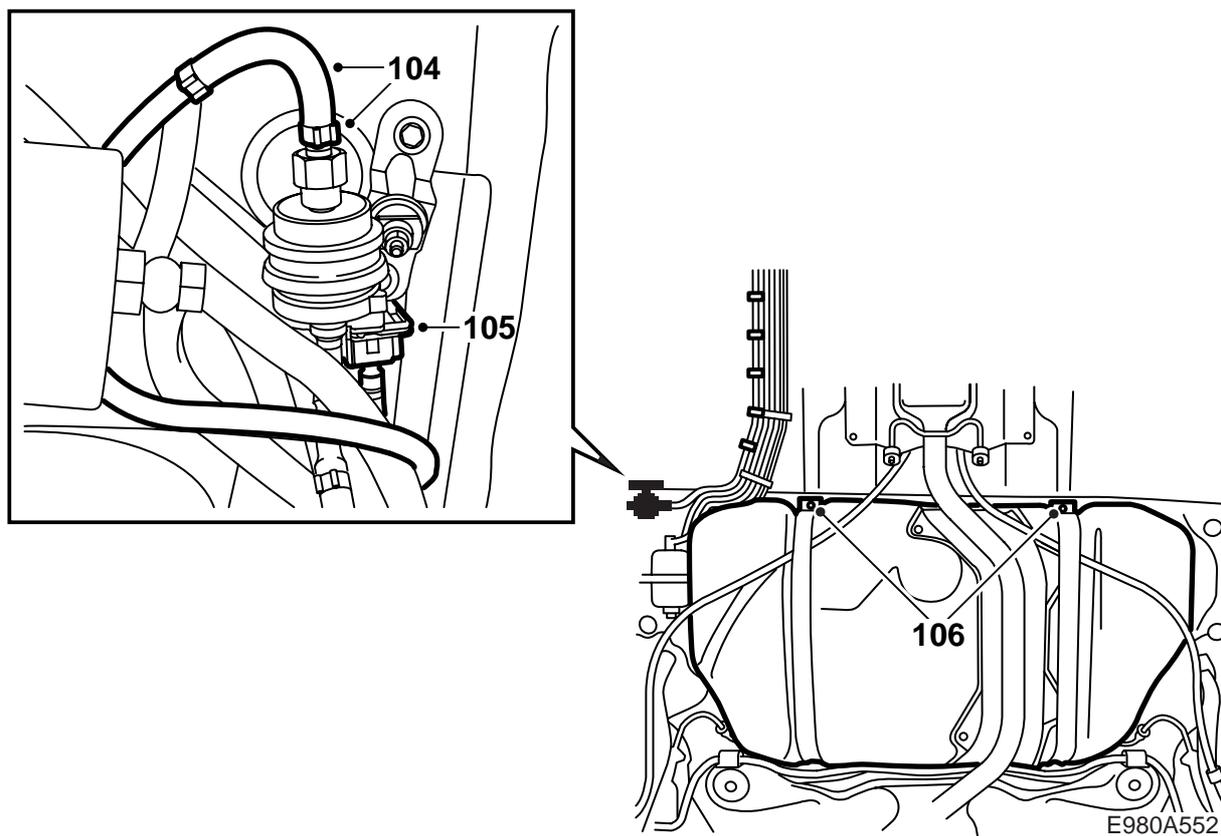
- 103 もう一方のフューエルラインエンドを、フューエルポンプ用ケーブルと一緒にテープでまとめて、フューエルラインに汚れが入り込まないようにする。フューエルラインとケーブル類を溶接ケーブルで固定する。フューエルラインとケーブル類を、ヒーターのフューエルポンプに導く。

重要事項

タンクパイプ端が損傷する恐れがあるので、ドリルを斜めにしないこと。

削りかすを取り除く。

- 101 燃料接続キットのビニール袋を開け、袋の中の取り付け説明書を捨てる。接続ホースの大きい方の端を、タンク接続部にクリップで取り付け、もう一方のクリップは接続ホースに取り付ける。エンド部分が先細りのラインをしっかり押し込む（曲がった部分が接続ホースに合うまで）。ホースクリップを所定の位置に取り付ける。
- 102 溶接ケーブル（約 1.5 m）をフューエルラインに沿ってフューエルフィルターの方に導き、さらにフューエルタンク上部の前端まで引く。



- 104 フューエルラインを、フューエルポンプの吸気側に中継ぎホースと2個のクリップで取り付け。

重要事項

フューエルラインの接続部（フューエルポンプの吸入口側）を、指か手を使って形作り、中継ぎホースの90度の角度がなるべく原形をとどめるようにする。

角度が小さすぎると燃料供給が妨げられ、ホースが損傷し、ヒーターの作動に支障をきたす恐れがある。

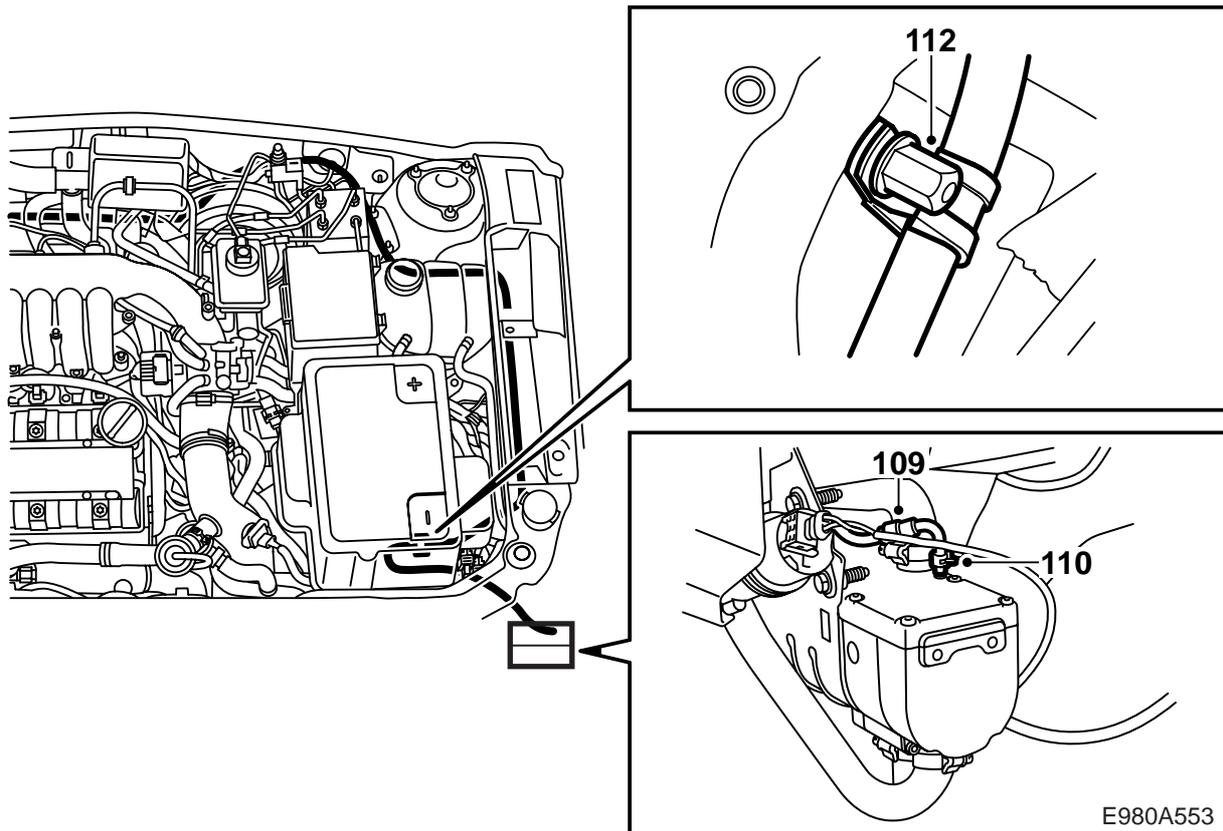
- 105 コネクターをフューエルポンプのワイヤーハーネス（極性はここでは関係ない）に差し込み、ポンプに接続する。
- 106 フューエルタンクを持ち上げ、各ネジを締める。

締め付けトルク：25 Nm (18 lbf ft)

重要事項

ホースやケーブル類が挟まらないように注意する。

- 107 フューエルラインとワイヤーハーネスを、ヒーターのフューエルポンプ付近で固定する。フューエルフィルターのカバーを、元通りに取り付ける（キットに入っている頑丈なケーブルタイを使用する）。



108 ブレーキパイプに沿ってケーブルタイを締め付けるが、フューエルラインが破損するほど強く引き締めてはならない。車両を下げ、隔壁に沿ってケーブルタイを締め付ける。

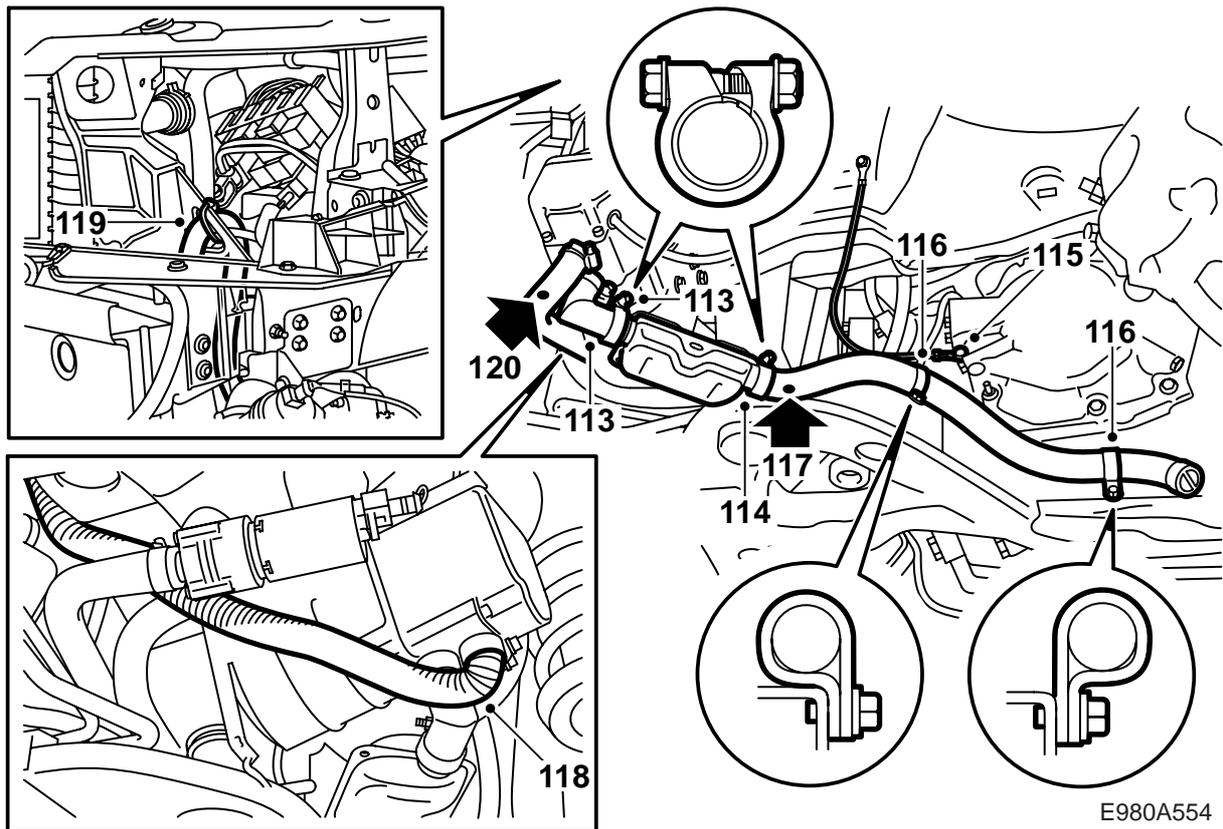
109 フューエルラインをヒーターに引き入れ、曲がり接続ホースを、フューエルライン上にクリップで取り付ける (図を参照する)。細い方をヒーターに向けること。

電動バキュームポンプ装備車： 図を参照してフューエルラインをポンプとブラケット間に導き、高温となる表面や鋭利な部品に接触しないようにブラケットに固定する。

110 ヒーターのフューエルライン端にホースをクリップで接続する。

111 ラインが高温となる表面や鋭利な部品に接触しないように、位置を調整する。

112 フューエルラインをエンジンルーム内で調整し、バッテリーのアースポイントヘラバークリップで固定する。



113 曲がったエキゾーストパイプを、ヒーターのエキゾーストパイプ端にクリップで固定する。マフラーに滑らせて入れ（端を確実にスライドさせる）、クリップを付ける。マフラーをサブフレームの方に斜め後ろに傾げ（図を参照）、クリップで締め付ける。

締め付けトルク：5 Nm (3.7 lbf ft)

114 エキゾーストホースをマフラーにクリップで取り付ける。

115 エキゾーストホースにホルダーを取り付ける。ホースが前輪やホイールアーチライナー、およびギアボックスかサブフレームに接触しないように、図のようにホースをサブフレーム上で曲げる。エキゾーストホースとアースケーブル間が最低 40 mm 離れていることを確認し、必要に応じて、ギアボックスのアースケーブルの接続を、ケーブルターミナルをひねって調整する。

重要事項

アースケーブルが図示の通りに取り付けられていることを確認する。そうでない場合は、アースケーブルを移動しなければならない。

締め付けトルク：25 Nm (18 lbf ft)

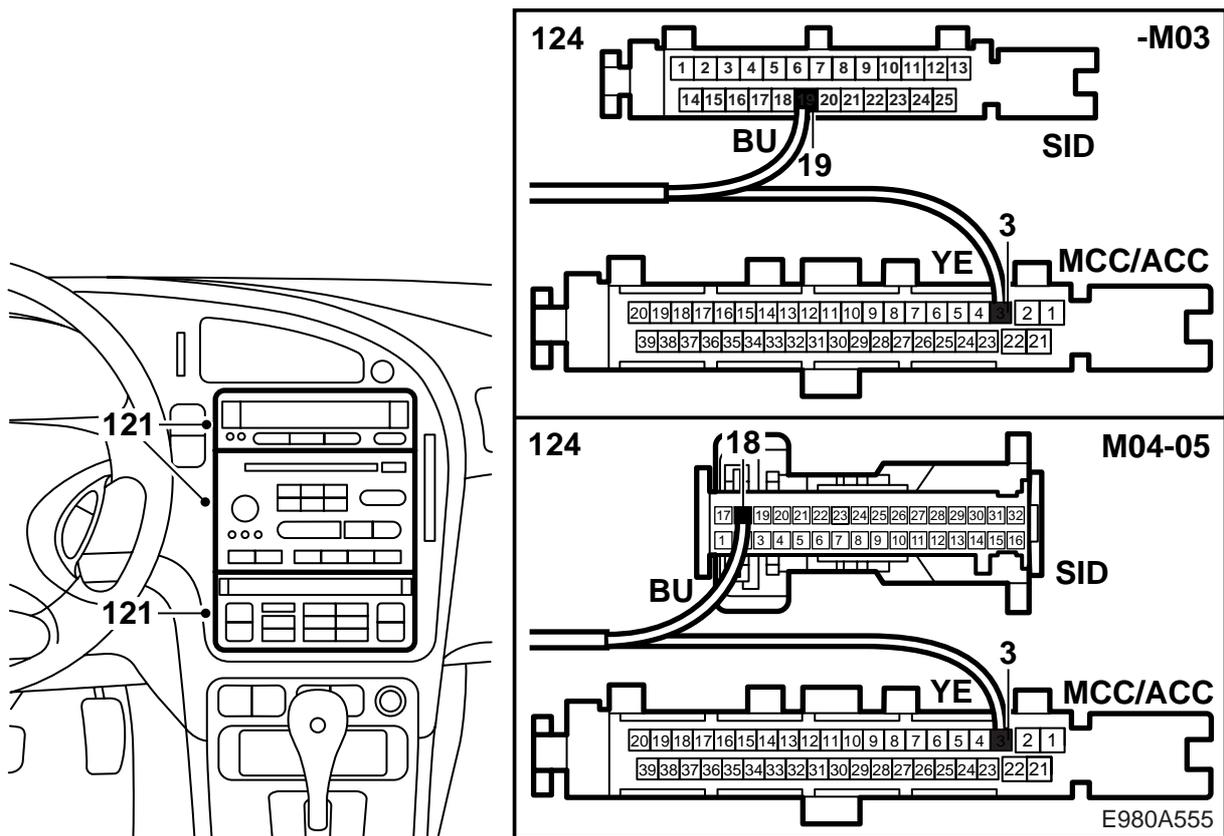
116 センターポンチでマークを付けてから、ドリルでサブフレームに 4 mm の穴を 2 つあける（図を参照する）。エキゾーストホースの両方のホルダーをサブフレームの方に引っ張り、ホースの端を下方に曲げ、ホイールハブの方に向ける。エキゾーストホースががたつきや異音の発生原因とならないか、また、ホースとギアボックス間の距離が最低 10 mm あるかをそれぞれ確認する。

117 マフラー付近のエキゾーストホースの一番低い位置に、3 mm の排水穴をあける。

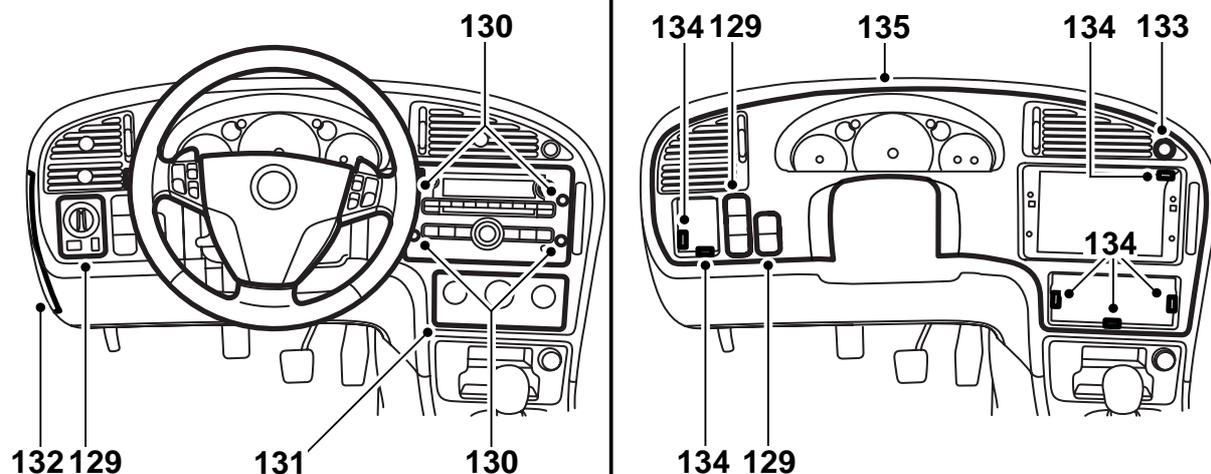
118 インテークホースの一方の端を 100° 曲げ、ヒーターパイプ端にクリップで接続する。

119 エンジンルーム内の左側ヘッドライトの後ろでホースを支え、ホースの上端を 180° 折り下げ、ラジエーターフレーム補強部の三角穴に通し、水がヒーターに入り込まないようにする。ヒーターにあたる燃烧気になるべく熱くならないように、ホース口を左側ヘッドライトの方に向ける。ホースを固定する。

120 ヒーター接続部の近くにあるインテークホースの一番低い位置に、3 mm の排水穴をあける。

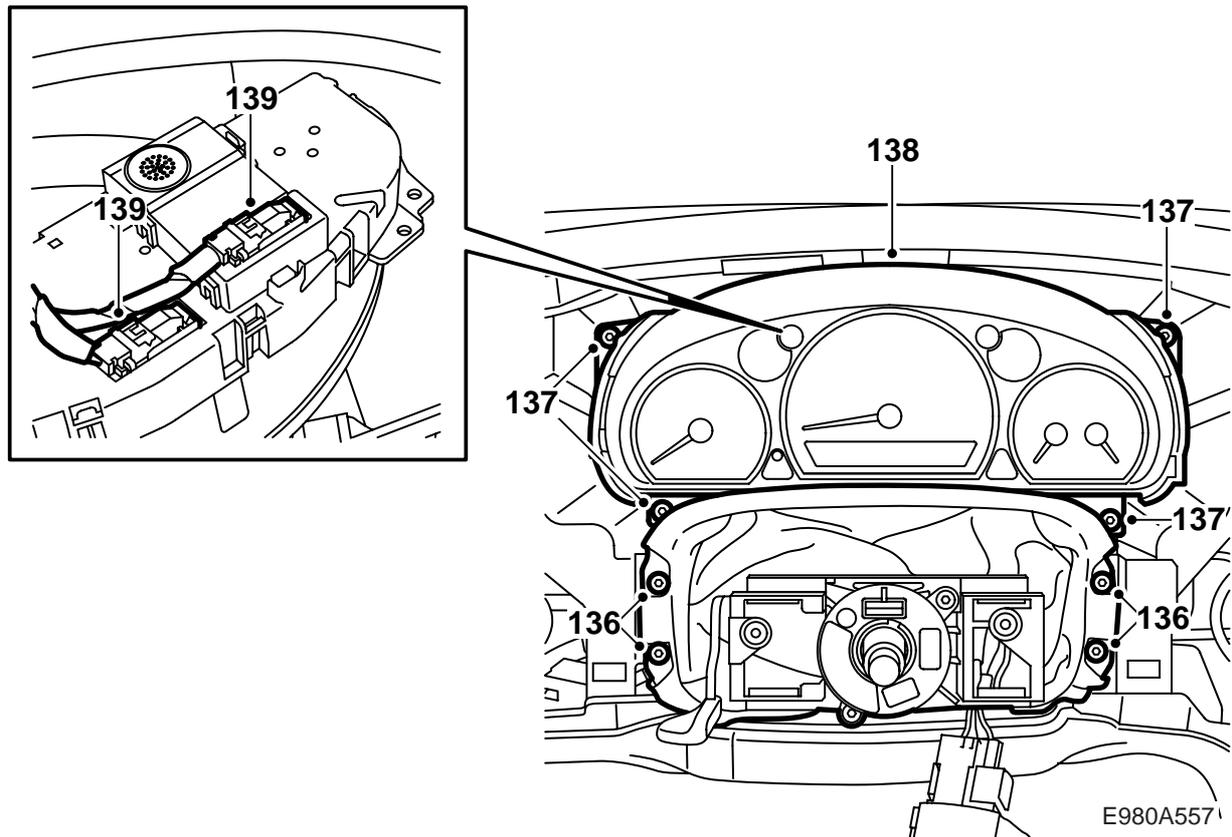


- 121 **-M05:** ダッシュボードからラジオ、SID ユニット、空調装置のコントロールパネルを取り出す。空調装置のコントロールパネルと SID からコネクタを外す。
- 122 **-M05:** 青 (BU) と黄 (YE) のケーブルをセンターコンソールまで引き、挟まらないように固定する。
- 123 **-M05:** コネクタの上下部分を慎重にスライドして、分割する。
- 124 **-M03:** 青 (BU) のケーブルを SID ユニットのコネクタのポジション 19 に接続し、黄 (YE) のケーブルを空調装置のコントロールパネルのコネクタのポジション 3 に接続する。コネクタを差し込む。
- M04-05:** ケーブルターミナルを青 (BU) のケーブルから取り外し、キット内容のケーブルターミナルを取り付ける。青 (BU) のケーブルを SID ユニットのコネクタのポジション 18 に接続し、黄 (YE) のケーブルを空調装置のコントロールパネルのコネクタのポジション 3 に接続する。コネクタを差し込む。
- 125 **-M05:** コネクタを接続し、ラジオ、SID ユニット、空調装置のコントロールパネルを取り付ける。
- 126 **-M05:** ケーブルが可動部品に接触したり、がたつきや異音の発生の原因とならないように、ダッシュボードの下にケーブルを固定する。

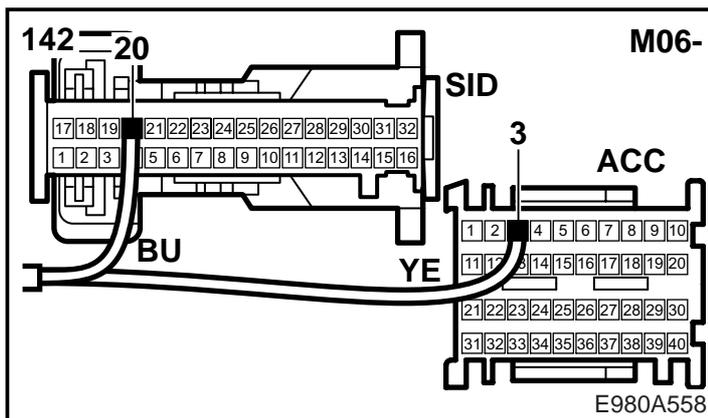
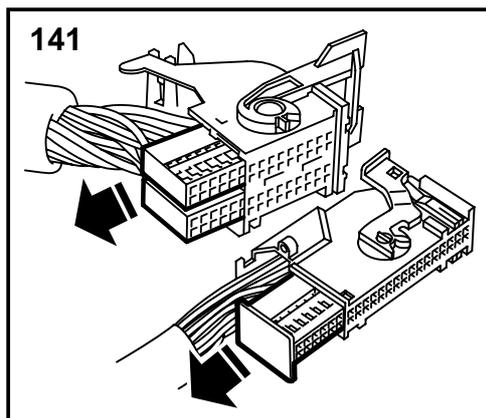
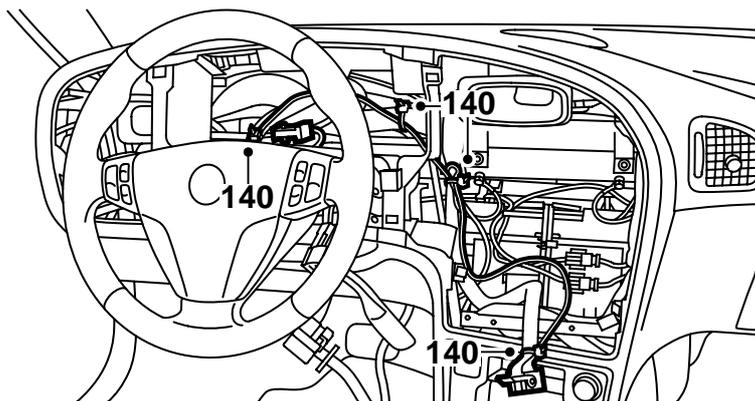


E980A556

- 127 **M06-**: ステアリングホイールを引き出して下ろし、固定する。
- 128 **M06-**: 上下のステアリングコラムカバーを取り外す。ボルト3本。
- 129 **M06-**: インジケーターとウインドシールドワイパーのスイッチを外す。
- 130 **M06-**: カバーとオーディオユニットを取り外す。ボルト4本。
- 131 **M06-**: 暖房換気パネルを取り外し、コネクタを外す。
- 132 **M06-**: パネル側面のヒューズホルダーのカバーを取り外す。ライトスイッチとその他のスイッチを外し、そのコネクタも外す。
- 133 **M06-**: ハザードライトのスイッチを外し、コネクタを外す。
- 134 **M06-**: インstrumentプレートを取り外す。これは、ボルト6本とクリップ4個で固定されている。
- 135 **M06-**: Instrumentプレートを持ち上げて外す。



- 136 **M06-**: ステアリングコラムカバーのボルトを取り外す。
- 137 **M06-**: メインインストルメントユニットのボルトを取り外す。
- 138 **M06-**: メインインストルメントユニットを持ち上げて外す。
- 139 **M06-**: コネクターを外す。



140 **M06-**: 青 (BU) と黄 (YE) のケーブルをセンターコンソールまで引き、挟まらないように固定する。

141 **M06-**: コネクターの上下部分を慎重にスライドして、分割する。

142 **M06-**: テープを約 25 cm 取り外し、ケーブル 2 本をほぐす。ケーブルターミナルを青 (BU) のケーブルから取り外し、キット内容のケーブルターミナルを取り付ける。青 (BU) のケーブルを SID ユニットのコネクターのポジション 20 に接続する。ケーブルターミナルを黄のケーブルから取り外し、新しいケーブルターミナルを取り付ける。黄 (YE) のケーブルを空調装置のコントロールパネルのコネクターのポジション 3 に接続する。コネクターの上下部分を押し合わせる。

143 **M06-**: メインインストルメントユニットを取り付ける。

144 **M06-**: インストルメントプレートを所定の位置に持ち上げる。

145 **M06-**: エアダクトが正しい位置に配置されているか、運転席側から確認する。

注記

コネクタやケーブルが挟まっていないことを確認する。

146 **M06-**: インストルメントプレートを取り付ける。これは、ボルト 6 本とクリップ 4 個で固定する。

147 **M06-**: ライトスイッチとその他のスイッチを接続し、取り付ける。

パネル側面にヒューズホルダーのカバーを取り付ける。

148 **M06-**: ハザードライトのスイッチを取り付け、後ろからコネクタを差し込む。

注記

ハザードライトのスイッチには、どの面を上にするかマークが付いている。

149 **M06-**: 暖房換気パネルを接続し、取り付ける。

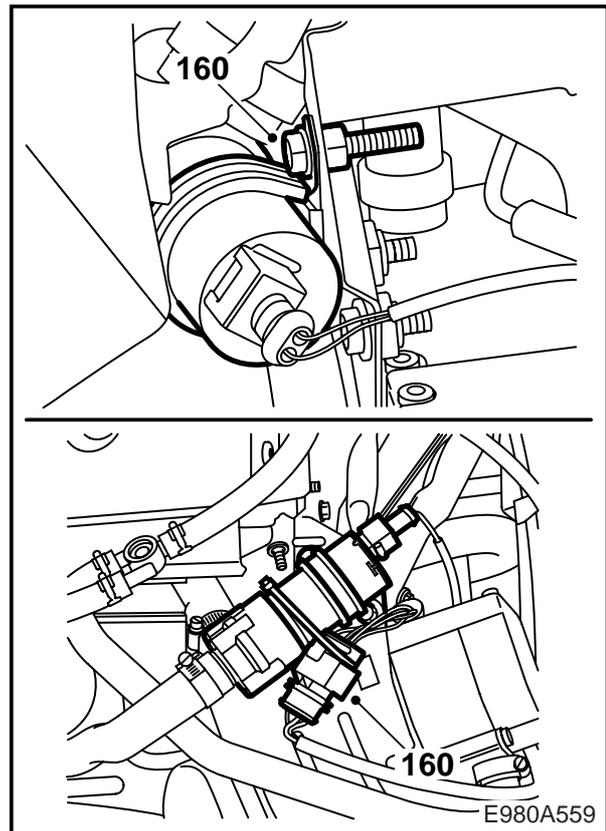
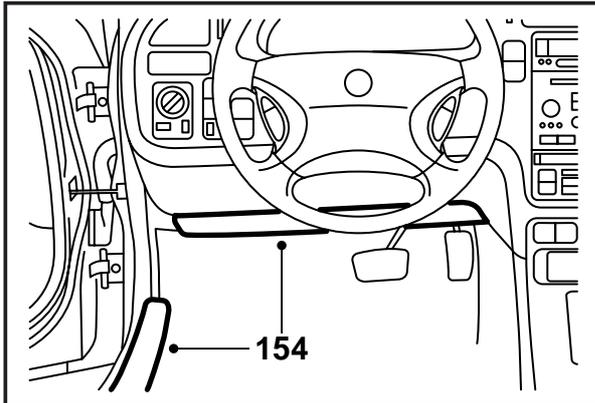
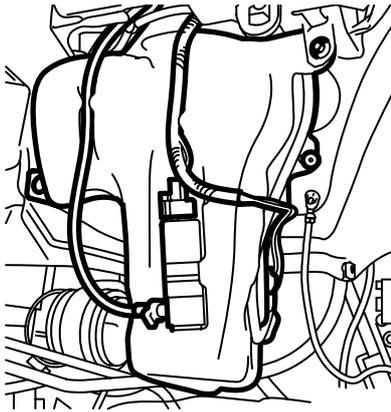
150 **M06-**: オーディオユニットとカバーを取り付ける。

151 **M06-**: インジケータとウインドシールドワイパーのスイッチを取り付ける。

152 **M06-**: 上下のステアリングコラムカバーを取り付ける。

153 **M06-**: ケーブルが可動部品に接触したり、がたつきや異音の発生の原因とならないように、ダッシュボードの下にケーブルを固定する。

159



154 **LHD**: インストルメントパネルの下に防音パネルを取り付け、スカッフプレートを再び取り付ける。

RHD: グローブボックスを取り付け、スカッフプレートを再び取り付ける。

全車両: フューエルタンク上のカバーを取り付け、カーペットを元通りに戻す。リアシートのシートクッションを取り付け、元の位置に戻す。

重要事項

シートヒーターが装備されている場合は、この接続を忘れないこと。

155 ヒーターの冷却液ホースをケーブルタイで固定する。挟まったり、損傷しないように調整する。

156 エンジンルームのヒューズボックス、リレープレート、およびカバーを取り付ける。ヒューズボックスのマウンティングブラケット上にケーブルタイを取り付ける。

157 **M02-**: バッテリートレーを取り付ける。

全車両: バッテリーを取り付け、バッテリーケーブルを接続する。

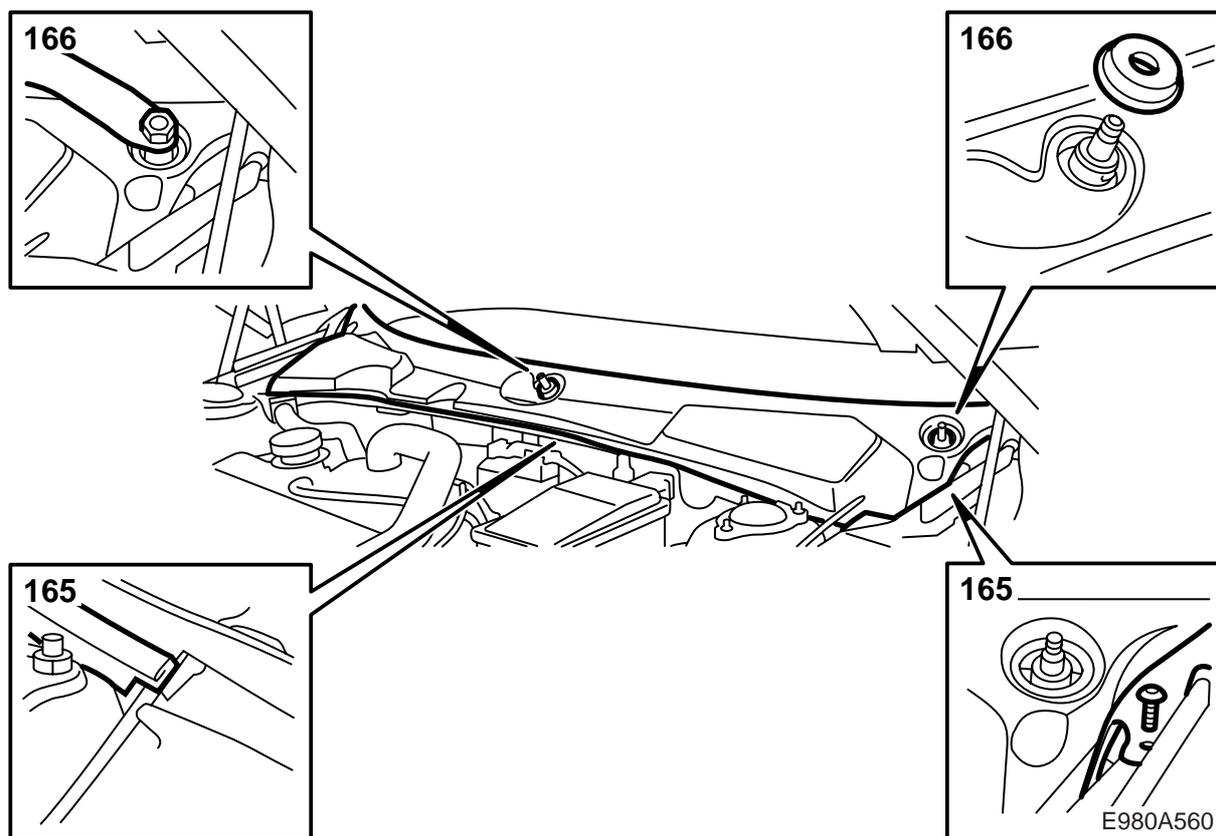
158 **V6**: エンジンカバーを取り付ける。

159 ウォッシャー液タンクを元のように取り付け、ウォッシャー液ポンプとレベルセンサーを接続する。

160 循環ポンプにホルダーを取り付け、ブラケットの上の穴でボルトとナットで固定する。

-M01: ヒーターの8極コネクタを、ヒーターの後方の前輪に対して固定する。

M02-: ヒーターの8極コネクタをパイプの下側で固定する。



161 冷却装置のエア抜きをする。

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

165 バルクヘッドスペース上のカバーロックとボンネットシールモールディングを取り付ける。

166 ウインドシールドのワイパーアームを取り付ける。

4 気筒 : エンジンを始動させ、サーモスタットが開くまで回転させる。

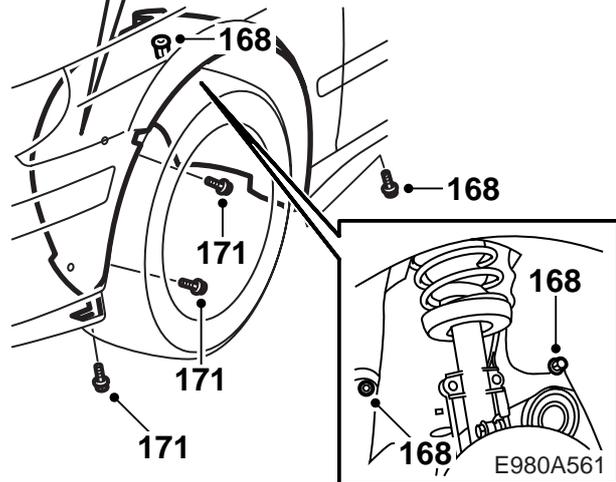
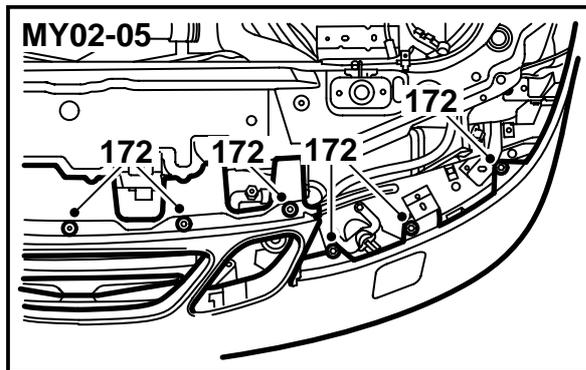
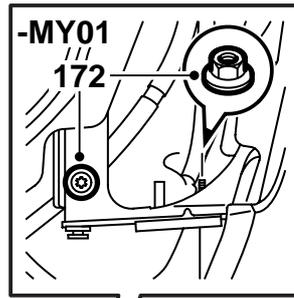
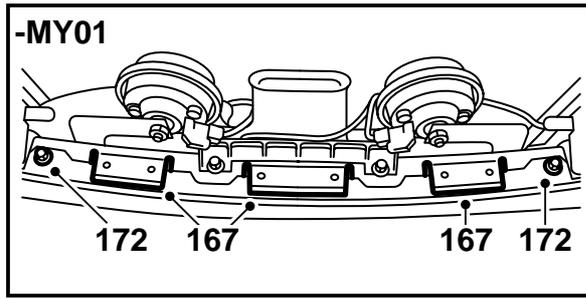
V6 : システムに MAX レベルまで冷却液を入れ、エキスパンションタンクのキャップをはめる。エンジンを始動させ、ラジエーターファンが始動するまで回転速度を変えながら暖機回転する。エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、MAX レベルまで補充する。キャップを締め、エンジンを始動させ、ラジエーターファンがさらに 3 回始動するまで、回転速度を変えながら暖機回転する。

162 エンジンを止め、冷えるのを待ってから、冷却液のレベルを点検する。必要に応じて MAX レベルまで補充する。

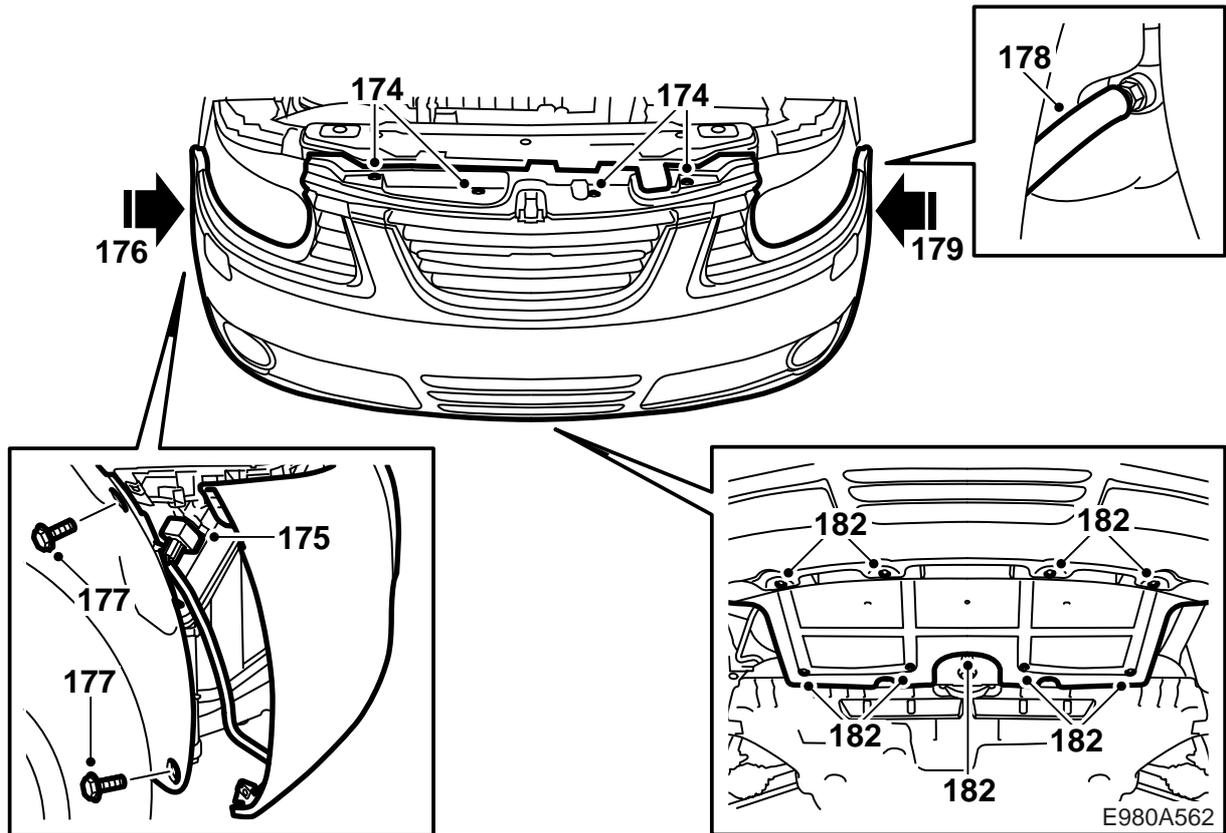
163 SIDユニットを以下のようにプログラミングする。

- 診断ツールを接続し、SID と通信を確立する。
- 「プログラミング」を選択する。
- 「パーキングヒーターの起動」と「タイマーで作動」を選択する。
- 「パーキングヒーターのタイプ」と「ガソリンドライブ」を選択する。

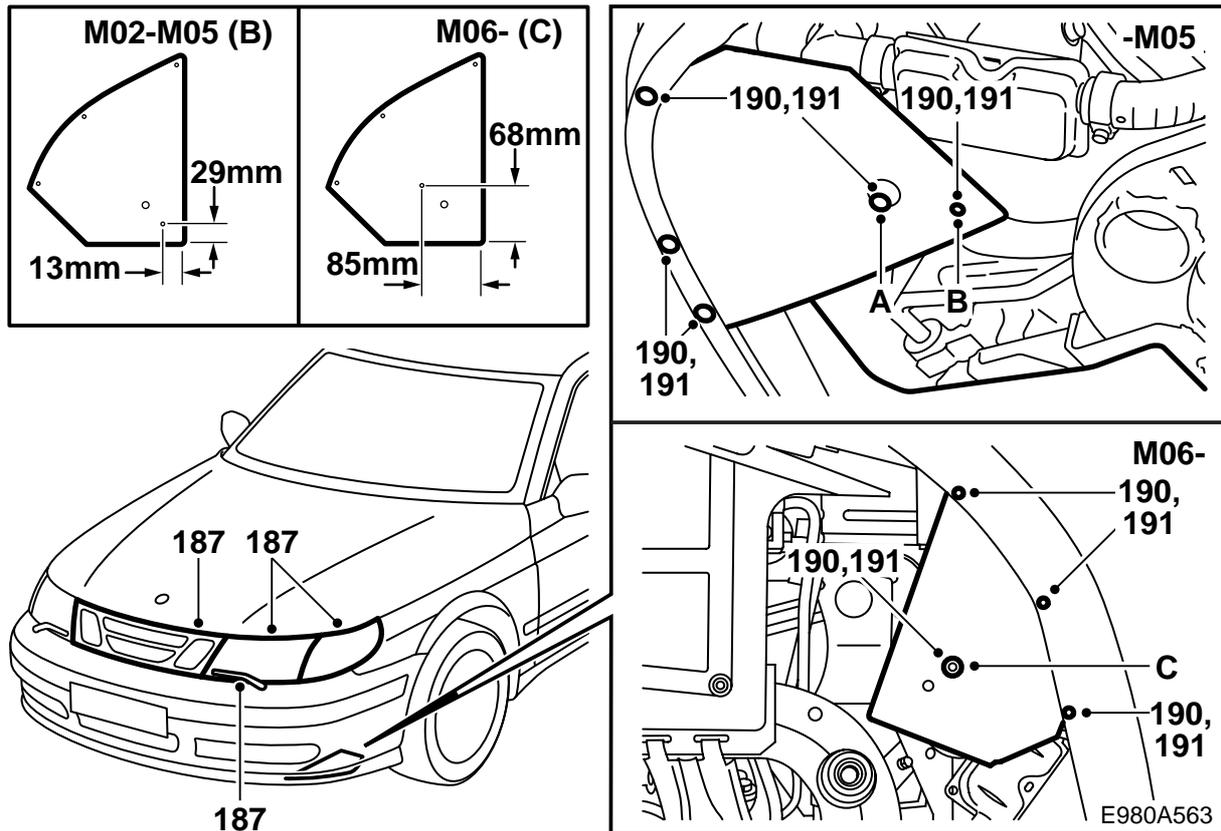
164 まずヒーター、それからエンジンを始動させ、エアがシステムから抜けるまで作動させる。



- 167 **-M05:** シートメタルラグを点検し、損傷が無いか、また下に曲がっていないか点検する。
- 168 ホイールアーチライナーを取り付け、ヒーターのエキゾーストホースがホイールアーチライナーに接触していないことを確認する。
- 169 バンパーをバンパービームに押しはめる。
-M01: ワイパーのストップとワイパーモーターの軸が正しい位置に付いているかを確認する。
- 170 **-M01:** バンパー補強部を、外側と内側のホイールアーチライナーの間に取り付ける。
- 171 **-M05:** バンパーをホイールアーチライナーに保持する 6 本のボルト (片側 3 本ずつ) を取り付ける。
- 172 **-M01:** バンパーをバンパービームに保持する 4 本のボルト、およびバンパーをフロントフェンダーに保持するナットを取り付ける。
M02-05: バンパーをバンパービームに保持する 6 本のボルト、およびグリルの上に 5 個のクリップを取り付ける。



- 173 **M06-**: 同僚の手助けを借りて、バンパーシェルを持ち上げて取り付ける。
- 174 **M06-**: バンパーシェルの上部クリップを取り付ける。ボルトを取り付ける。
- 175 **M06-**: 右側のフロントバンパーハーネスのコンネクターを差し込む。
- 176 **M06-**: シェルを後方に押し、右側のブラケットに押し入れる。
- 177 **M06-**: 右側にホイールアーチライナーのボルトを取り付ける。
- 178 **M06-**、**ヘッドライトウォッシャー装備車**: プラグを外し、ウォッシャー液リザーバーへホースのクイックリリースカップリングを接続する。
- 179 **M06-**: シェルを後方に押し、左側のブラケットに押し入れる。
- 180 **M06-**: 左側にホイールアーチライナーのボルトを取り付ける。
- 181 **M06-**: 車両を上げる。
- 182 **M06-**: フロントスポイラーシールドを取り付ける。
- 183 **M06-**: 車をリフトダウンする。
- 184 **M98**: 温度センサーとフォグライト（装備車の場合）のコンネクターを接続する。
M99-: バンパーのワイヤーハーネスのコンネクターを接続し、バッテリーカバーを取り付ける。



185 バンパーのパーキングヒーター用コネクター（ある場合）を取り付ける。

186 **-M05**： フロントスポイラーシールドを取り付ける。

187 **-M01**： 左側ヘッドライトワイパーモーター、左右ヘッドライト、スパーサーワッシャー（ある場合）、ターンシグナル、グリル、ヘッドライトワイパーを取り付ける。プラスチックガイドがヘッドライトに対して正しい位置にあるか、また、ヘッドライトのドレーンホースがまっすぐ下に垂れており、折れ曲がっていないかをそれぞれ確認する。

M02-05： ヘッドライト、ターンシグナル、グリルの両方の外側パーツ、およびヘッドライトウォッシャーのカバーを取り付ける。

188 ヘッドライトの作動を点検する。

189 **M02-**： 図示の通りに、スプラッシュガードの穴開けする場所を計ってマークを付け、10 mm の穴を開ける。

190 クリップナット 1 個をヒーターブラケットのブラケットに取り付け、スプラッシュガード（マークの付いた位置）に 3 個取り付ける。

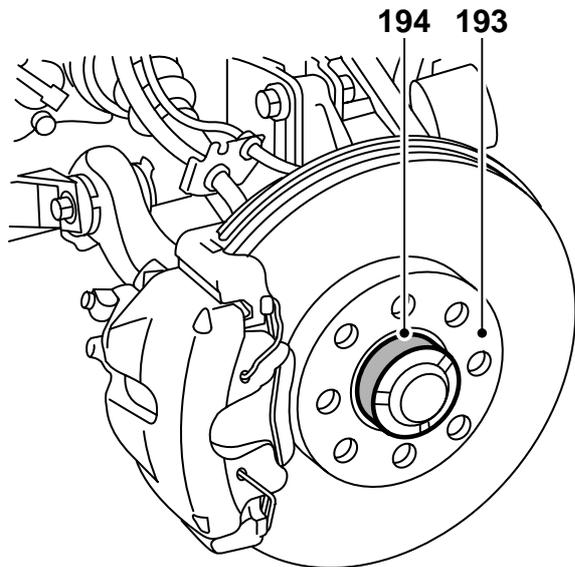
191 スプラッシュガードをブラケット（A = M01 まで、B = M02-05、C = M06 以降）に 1 本のネジで留める。バンパーシェルまたはスポイラー下のフランジに対する位置を調整する。穴をあける位置にマークを付け、スプラッシュガードを取り外して、4 mm の穴を開ける。

192 スプラッシュガードを 4 個のネジで留める。



警告

スプラッシュガードがヒーターのマフラーに接触していないか点検し、必要に応じて調整する。



- 193 ホイールリムとブレーキディスクの接触面の汚れや錆を落とし清掃する。
- 194 ハブに高圧潤滑ホワイトペースト（パーツ番号 30 06 442）を塗布する。

重要事項

ホイールリムとブレーキディスクの接触面にグリースが入らないようにすること。

- 195 **アルミホイール**：ボルトのネジ山と円錐面にオイルを塗布する。
- 196 所定位置にホイールを吊り、各ボルトを取り付けて、ホイールがセンタリングされるように交互に手で締めていく。
- 197 各ボルトを交互に2度締め付ける。

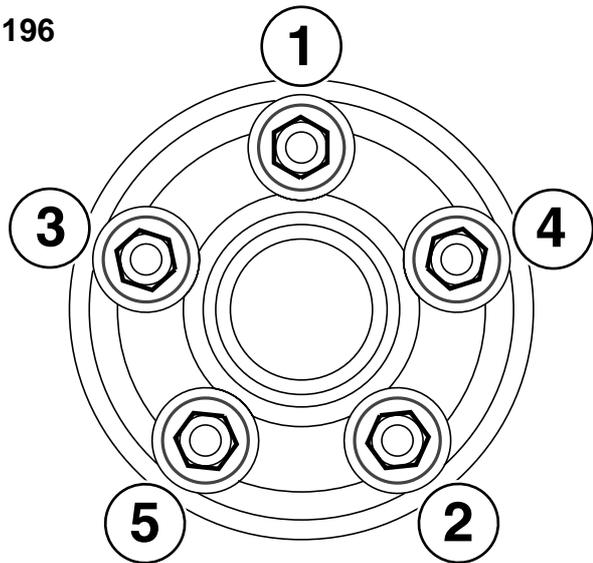
重要事項

締め付けに際しては、ホイールは吊られた状態で自由に回転できる必要がある。

締め付けトルク：110 Nm (81 lbf ft)

- 198 車をリフトダウンする。
- 199 ラジオコードがある場合は入力し、時計（日付を含む）をセットする。
- ACC**：ACCシステムの較正を行う。
- 200 ウォッシュャー液を補充する。

196



E980A564

- 201 洗浄用ガソリンで給油口カバーの内側のラベルを清掃する。警告ラベルをキットから取り出し、清掃した場所の大きさに合わせてラベルを調整し、取り付ける。

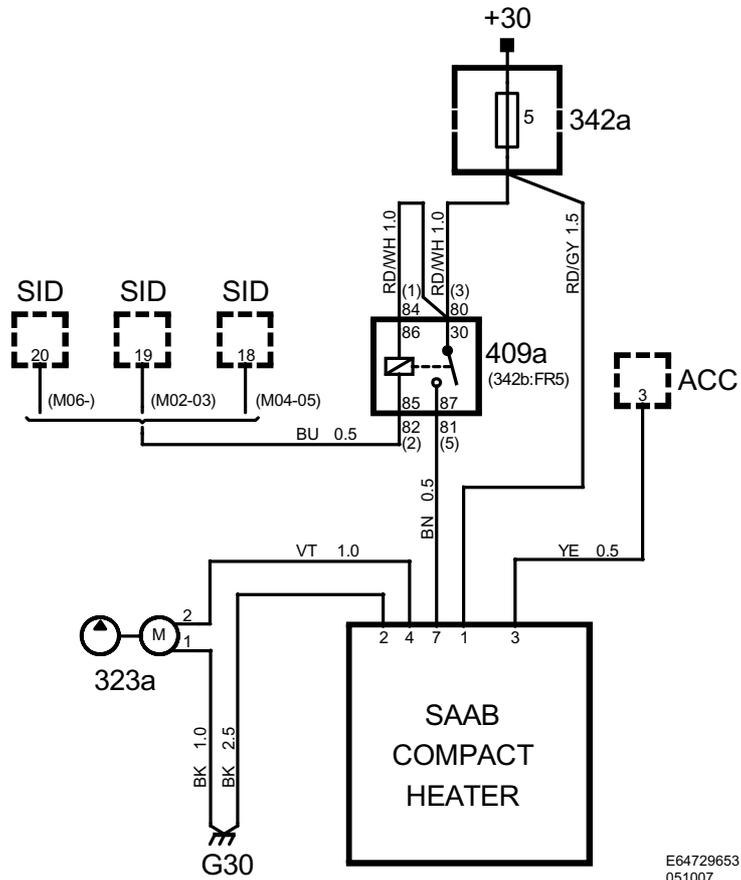
重要事項

どのような場合でも、ラベルの上にラベルを重ねてはいけない。

- 202 車内に取り付け説明書を置く。本取り付け説明書にある「ユーザーの方へ」、及びオーナーズマニュアルの関連の章について顧客に通知する。

ACC：ヒーターがONになっているとき、ACCシステムの元のプログラミングを変更して再入力できることを顧客に説明する。オーナーズマニュアルのACCの章について通知する。なお、ファンの回転速度が上がるとバッテリーの負荷も上がることも指摘する。

配線図 (M02-)



E64729653
051007